

玄海町観光戦略 2021-2025

令和3年3月

佐賀県玄海町

目 次

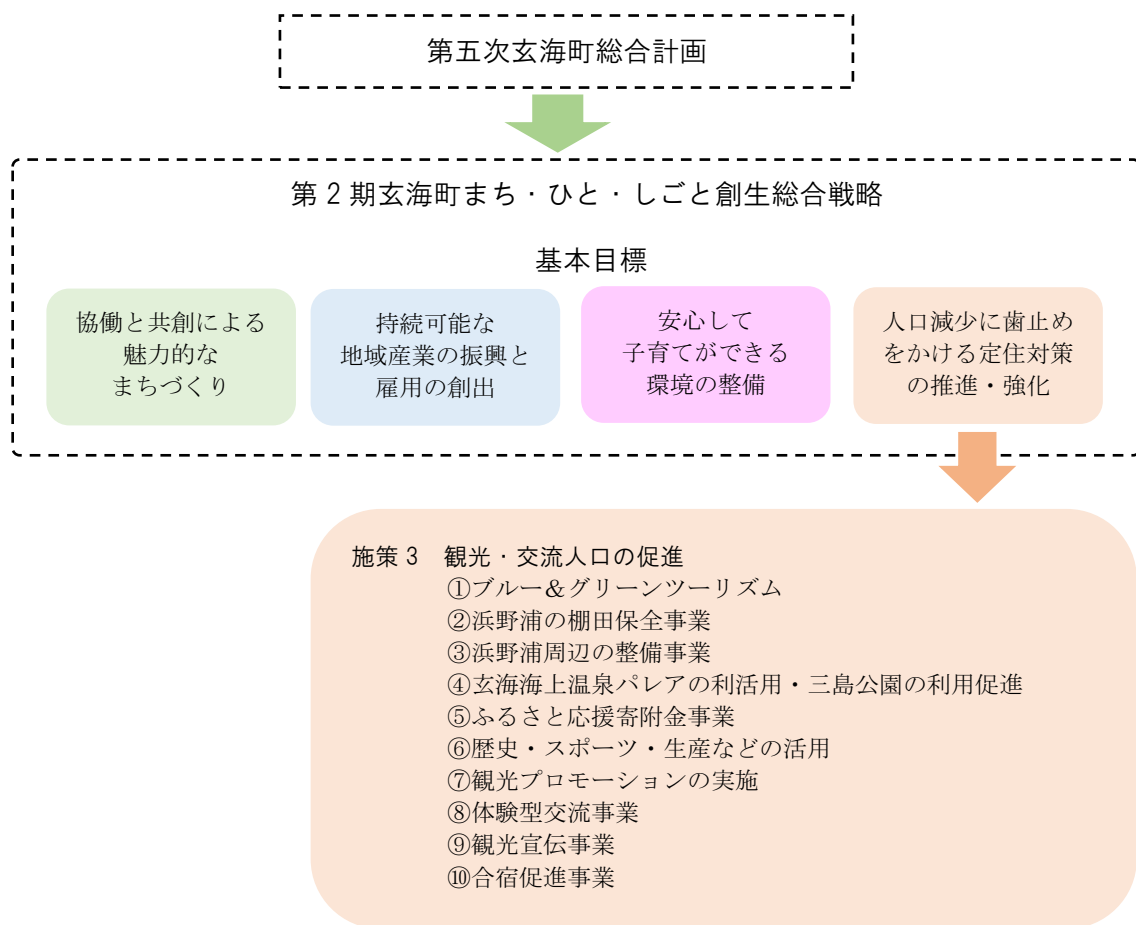
1. 観光戦略策定の目的	1
(1) 観光戦略の目的	1
(2) 観光戦略の位置付け	1
(3) 観光戦略の対象期間	1
2. 国内外の観光を取り巻く現状	2
(1) 国内の観光の状況	2
(2) 海外からの観光の状況	3
3. 玄海町の観光の現状	5
(1) 玄海町の主な観光資源	5
(2) 玄海町の観光の現状	6
(3) インターネットアンケート	9
(4) 来訪者アンケート	10
(5) 旧上場4町来訪者アンケート	10
(6) 観光の取組み	12
(7) 現状を踏まえた SWOT 分析	14
4. 玄海町の観光における施策体系	15
(1) 現状・課題を踏まえた基本方針及び事業	15
5. コンセプトとエリアイメージ	16
(1) コンセプト	16
(2) エリア別方針とターゲット	17
6. 基本方針と実施事業	18
(1) 基本方針	18
(2) 実施事業	18
(3) 観光戦略の KPI	22
(4) 2021 年度のアクションプラン	22
7. 戦略のマネジメント手法	23
(1) 推進体制	23
(2) マネジメントの方法	24
8. 資料編	25
(1) 玄海町の主な観光資源	25

1. 観光戦略策定の目的

(1) 観光戦略の目的

- 本観光戦略は、「第五次玄海町総合計画」を最上位計画として位置付け、重点戦略である「第2期玄海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（令和2年3月策定）と連携しながら、4つの基本目標のうち「人口減少に歯止めをかける定住対策の推進・強化」の施策3「観光・交流人口の促進」をさらに具体化し、観光施策を通して交流人口の増加や滞在時間の延伸を図ることを目的とする。

(2) 観光戦略の位置付け



- 関連する計画

第五次玄海町総合計画（平成28年3月）

第2期玄海町まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2年3月）

浜野浦整備基本計画（令和2年3月）

(3) 観光戦略の対象期間

- 本観光戦略の対象期間は、令和3（2021）年度から令和7（2025）年度の5か年とする。

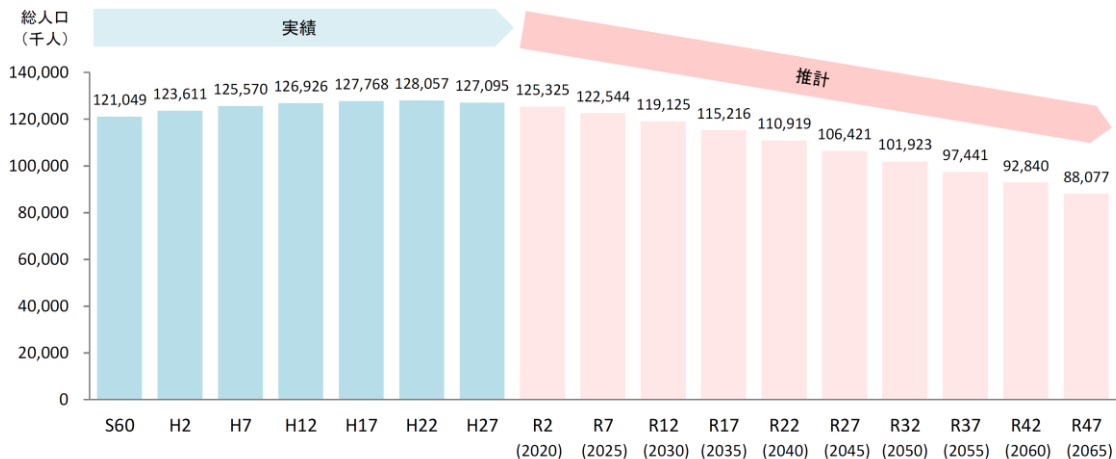
2. 国内外の観光を取り巻く現状

(1) 国内の観光の状況

今後我が国の国内旅行者数は減少していくと推測できる。

- 2011年以降、わが国の国内旅行者数は増減を繰り返している。近年においても旅行者数、旅行消費額ともに大幅な伸びはなく、人口減少時代に向けてますます減少すると推測できる。

【日本の人口の推移と将来推計】



資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

※パターン1：全国の移動率が今後一定程度縮小すると仮定した推計（社人研推計準拠）

出典：玄海町人口ビジョン（改訂版）及び第2期玄海町まち・ひと・しごと創生総合戦略

【日本人国内延べ旅行者数及び前年比】

単位：万人

	国内旅行全体					
			うち宿泊旅行		うち日帰り旅行	
	延べ旅行者数	前年比	延べ旅行者数	前年比	延べ旅行者数	前年比
2011年	61,253	-3.0%	31,356	-1.3%	29,896	-4.8%
2012年	61,275	+0.0%	31,555	+0.6%	29,720	-0.6%
2013年	63,095	+3.0%	32,042	+1.5%	31,053	+4.5%
2014年	59,522	-5.7%	29,734	-7.2%	29,788	-4.1%
2015年	60,472	+1.6%	31,299	+5.3%	29,173	-2.1%
2016年	64,108	+6.0%	32,566	+4.0%	31,542	+8.1%
2017年	64,751	+1.0%	32,333	-0.7%	32,418	+2.8%
2018年	56,178	-13.2%	29,105	-10.0%	27,073	-16.5%
2019年	58,710	+4.5%	31,162	+7.1%	27,548	+1.8%

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

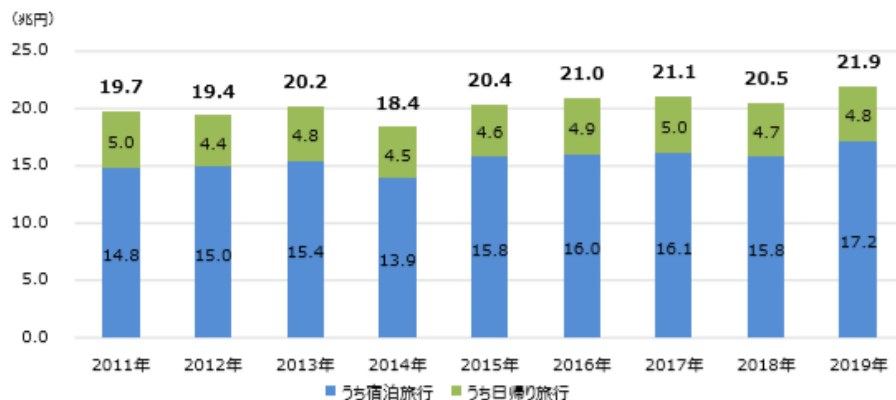
【日本人国内旅行の1人1回あたり旅行単価及び前年比】

単位：円/人

	国内旅行全体					
			うち宿泊旅行		うち日帰り旅行	
	旅行単価	前年比	旅行単価	前年比	旅行単価	前年比
2011年	32,222	-0.4%	47,149	-2.6%	16,567	+2.8%
2012年	31,695	-1.6%	47,444	+0.6%	14,972	-9.6%
2013年	31,995	+0.9%	48,094	+1.4%	15,383	+2.7%
2014年	30,947	-3.3%	46,717	-2.9%	15,206	-1.2%
2015年	33,750	+9.1%	50,520	+8.1%	15,758	+3.6%
2016年	32,687	-3.2%	49,234	-2.5%	15,602	-1.0%
2017年	32,606	-0.2%	49,732	+1.0%	15,526	-0.5%
2018年	36,462	+11.8%	54,300	+9.2%	17,285	+11.3%
2019年	37,355	+2.4%	55,054	+1.4%	17,334	+0.3%

出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

【日本人国内旅行消費額の推移】



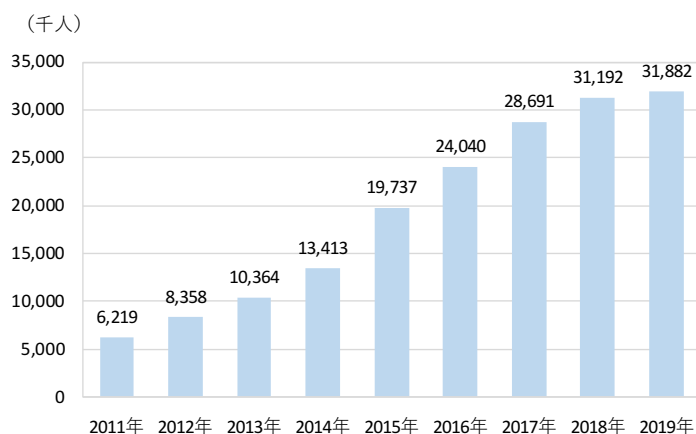
出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査」

(2) 海外からの観光の状況

県内で増加している訪日外国人に対する取組みが求められつつあるものの、
新型コロナウイルスの影響で訪日外国人が減少している。

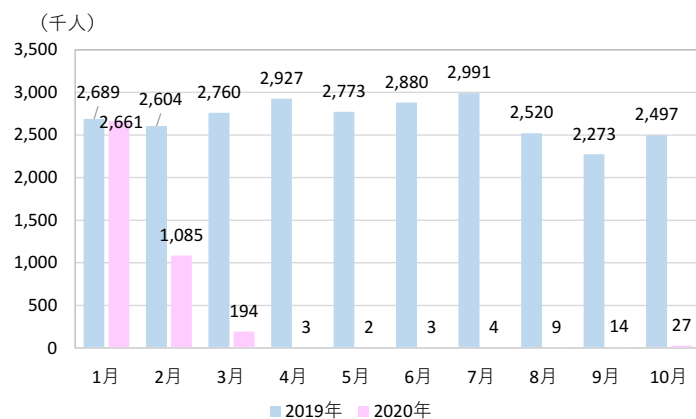
- 国は、2003年に外国人旅行者増加のための政策「ビジット・ジャパン・キャンペーン」を推進し、2017年に閣議決定された「観光立国推進基本計画」では訪日外国人客数を2020年までに4,000万人にすることを目標に掲げた。
- 佐賀県フィルムコミッション（文化課）と観光課が連携し、佐賀県フィルムコミッションがロケ誘致することでタイにおける佐賀県の認知度が向上した。それを受けて、観光課がプロモーションを行うことで、タイからの観光客が増加している。
- 事業効果もあり2018年に初の3,000万人を超え、その後も順調に増加していたが、2020年1月以降、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、訪日外国人は大幅に減少した。
- 佐賀県における外国人訪問率は、1.1%と多くない状況であるものの、2015年から2019年の5年間で2倍以上となっている。
- 佐賀県では増加している訪日外国人に対し、県内滞在時間の増加を目指し、ガイドブックの多言語化や観光地へのアクセスを向上させる取組みを行なっている。

【訪日外国人の推移】



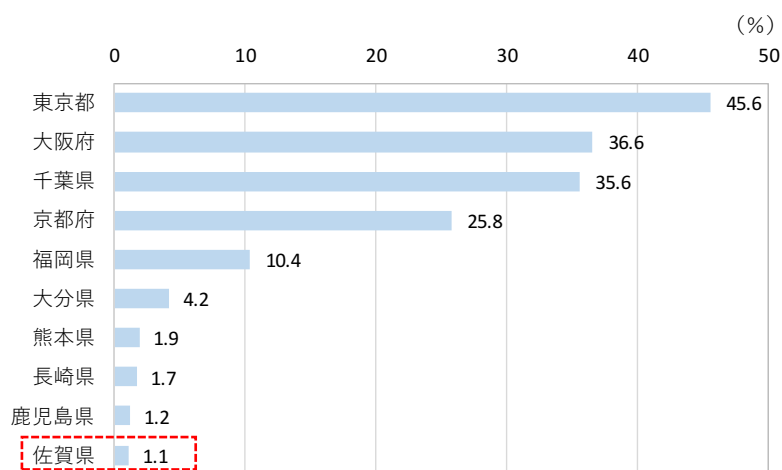
出典：日本政府観光局（JNTO）日本の観光統計

【訪日外国人の推移（2019年と2020年1月～10月比較）】



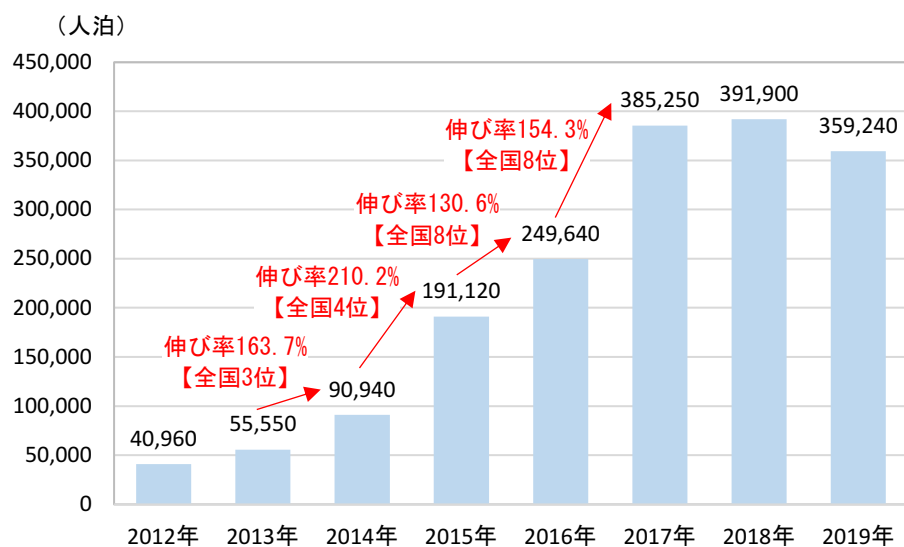
出典：日本政府観光局（JNTO）日本の観光統計

【都道府県別訪問率】



出典：日本政府観光局（JNTO）日本の観光統計

【佐賀県の外国人宿泊観光客数の推移】



出典：観光庁「宿泊旅行統計調査」

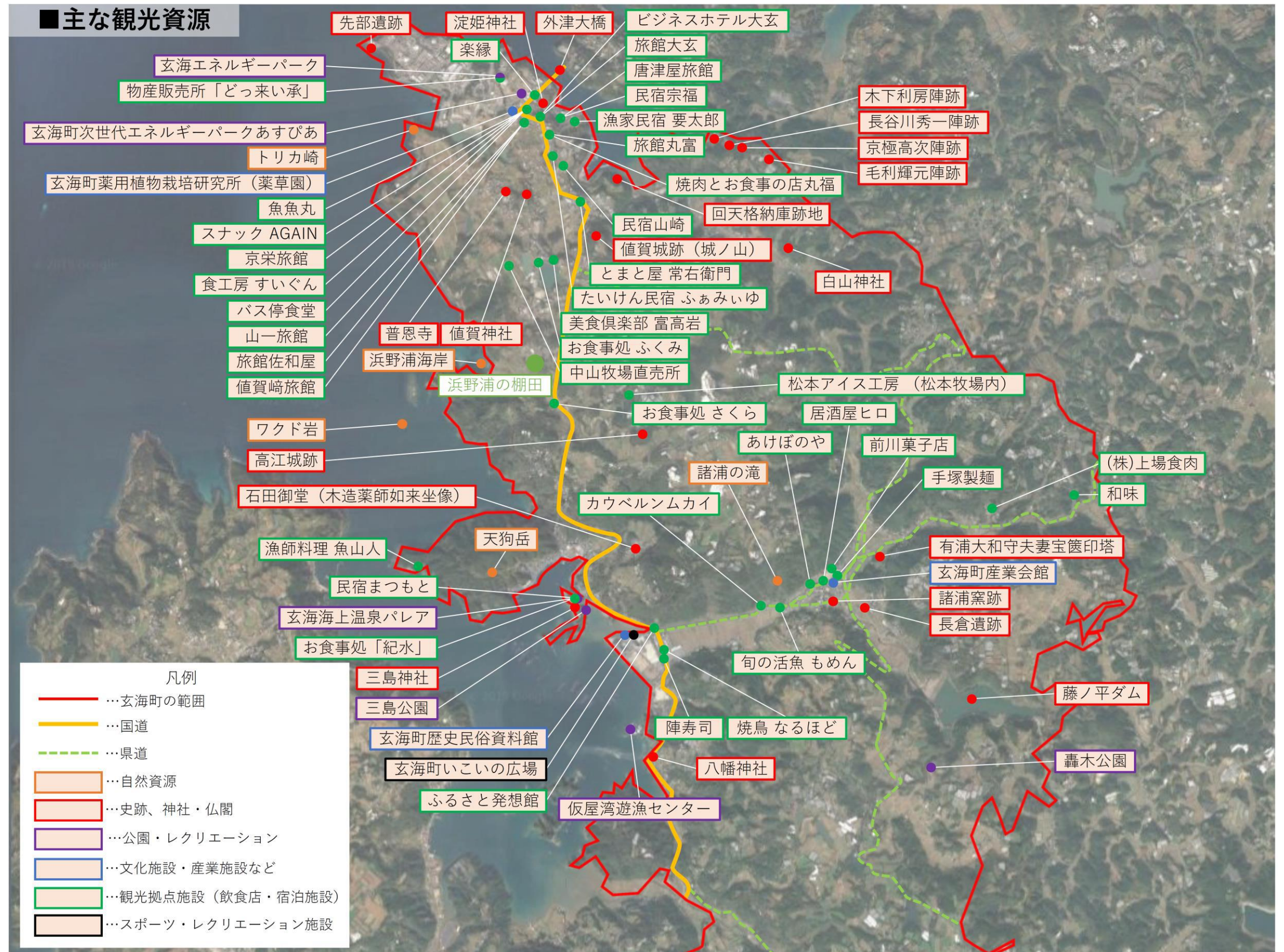
3. 玄海町の観光の現状

(1) 玄海町の主な観光資源

豊かな自然、海のレジャー、
祭りや史跡、食など様々な
特長がある。

玄海町の観光資源には以下のものがある。各施設の詳細は資料編を参照のこと。

- 日本の棚田百選に選ばれた浜野浦の棚田や仮屋湾を一望できる三島公園などの豊かな自然に恵まれている。
- 仮屋湾内にある天然の釣り堀がある仮屋湾遊漁センターやトリカ崎などで海釣りや海のレジャーを楽しむ。
- 玄海町内の各地で行われるほうけんぎょうや各神社のお祭りなどで玄海町の伝統を体験できる。
- 玄海町内には、古墳時代から江戸時代にかけての史跡が数多く残されている。
- 玄界灘の新鮮な海の幸、野菜や果物、佐賀牛など食を満喫できる。

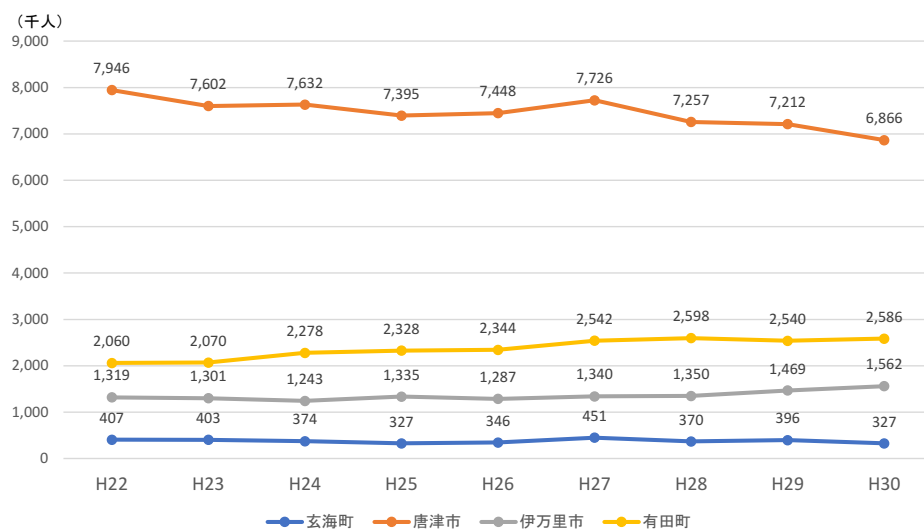


(2) 玄海町の観光の現状

近隣市町を含めた圏域全体では多くの観光客が訪れているものの、玄海町の観光入込客数は多くない。玄海町は佐賀県全体や唐津市と比べて一人あたりの観光消費額が少ない。

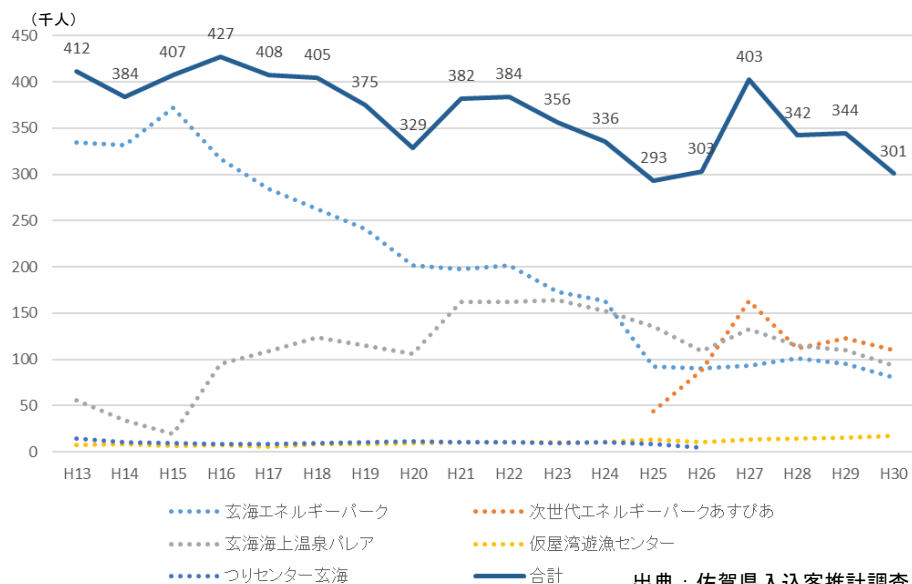
- 平成 29 (2017) 年の玄海町の観光入込客数は約 40 万人だが、近隣の唐津市 (約 700 万人) や伊万里市 (約 150 万人)、有田町 (約 250 万人) を含めると、圏域全体として多くの観光客が訪れている。
- 玄海町においては、「浜野浦の棚田」をはじめ、「玄海エネルギーパーク」「玄海海上温泉パレア」等の施設が観光目的地として選ばれている。
- 年間観光消費額の推移は、増加傾向にあり、平成 29 (2017) 年は約 5.1 億円となっている。また、一人あたりの観光消費額も増加し、平成 29 (2017) 年は 1,295 円/人となっている。しかし、佐賀県 (平成 29 (2017) 年 : 3,456 円) と唐津市 (平成 29 (2017) 年 : 3,989 円) と比較すると低水準の状況である。

【観光入込客数の推移】



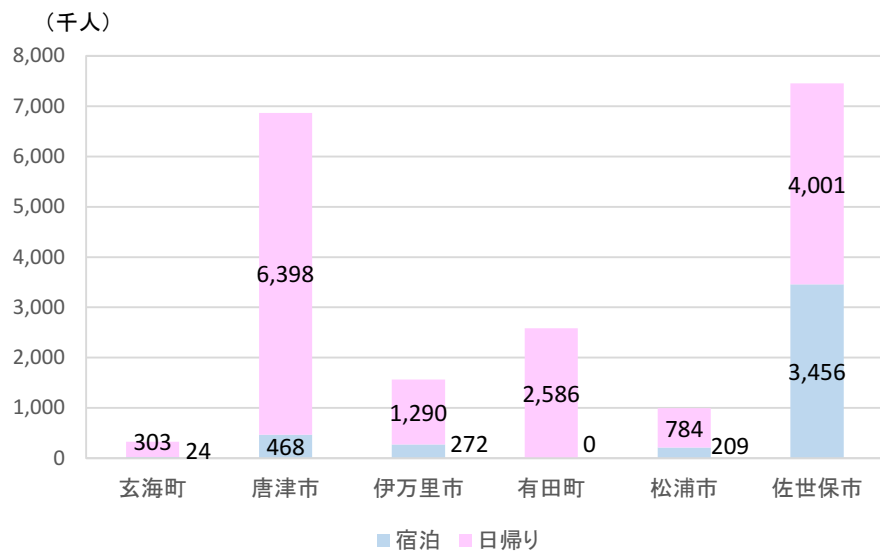
出典：佐賀県入込客推計調査

【町内の観光入込客数の推移】



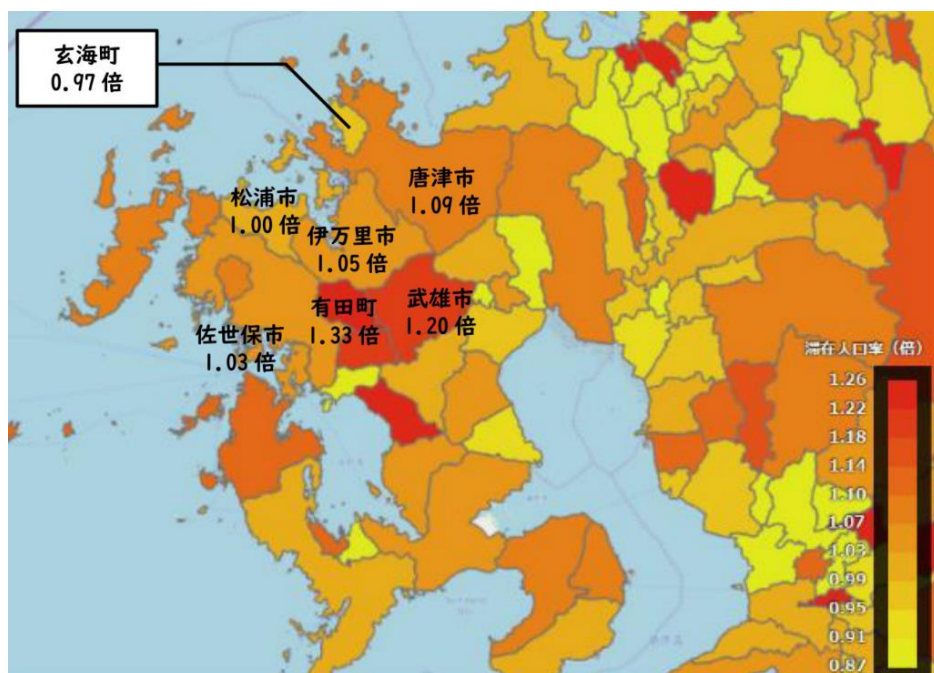
出典：佐賀県入込客推計調査

【玄海町と近隣市町の日帰り・宿泊者数】



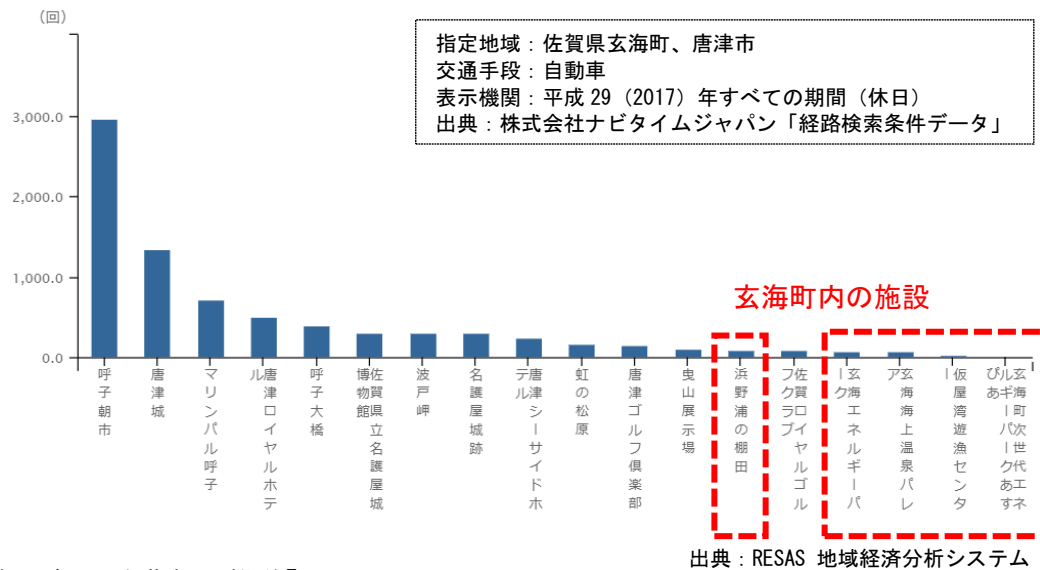
出典：佐賀県観光動態調査、長崎県観光調査

【休日における滞在人口率】

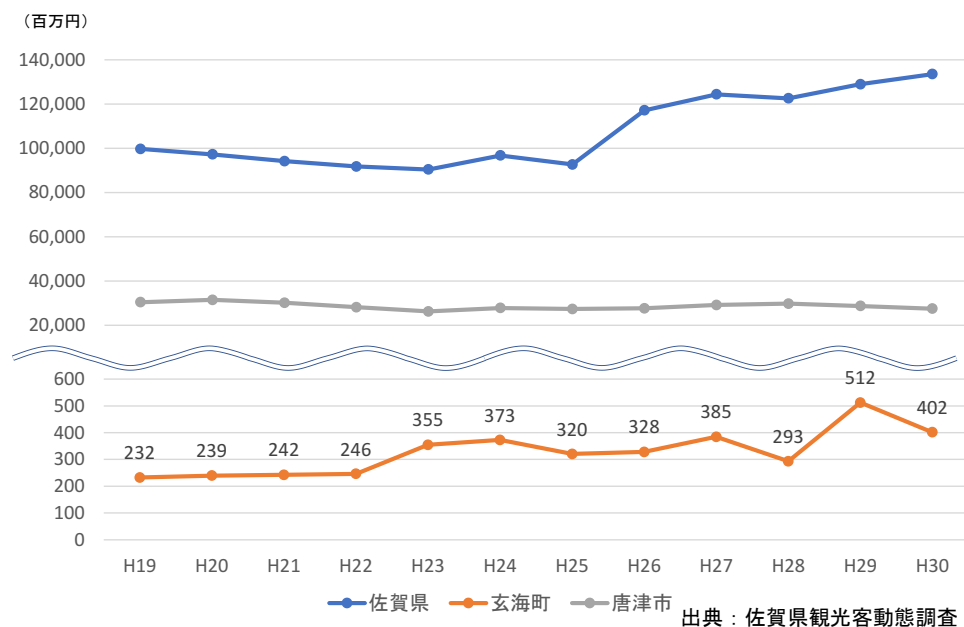


出典：RESAS 地域経済分析システム

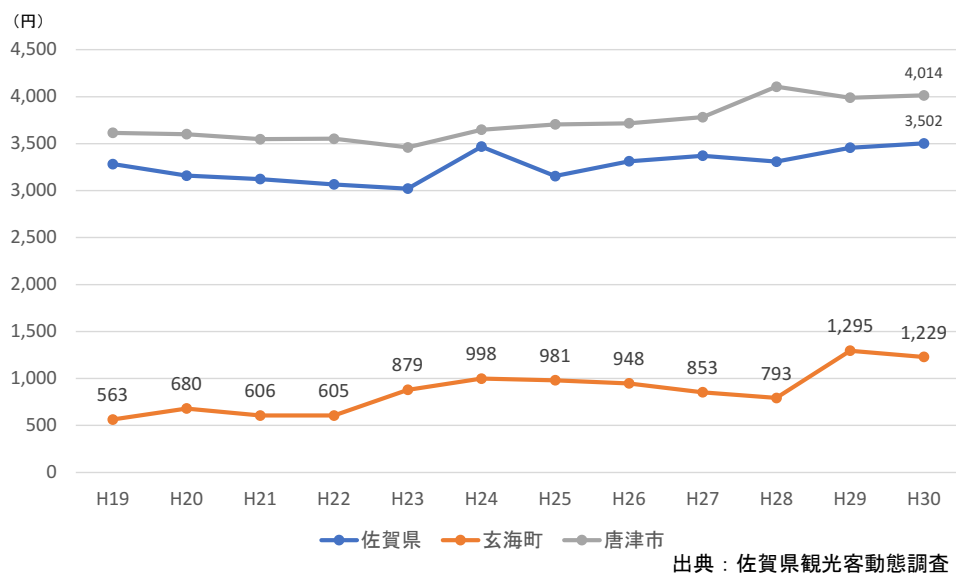
【目的地一覧（玄海町・唐津市、自動車利用、平成 29（2017）年休日）】



【年間観光消費額の推移】

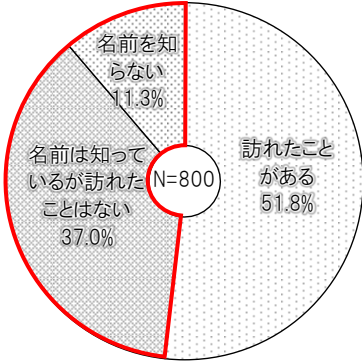
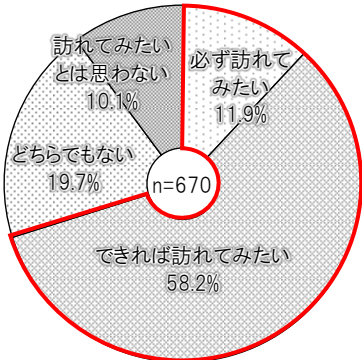


【一人あたりの観光消費額の推移】



(3) インターネットアンケート

浜野浦の棚田は、潜在的な来訪意向が高い。
また、来訪者は自然環境や食を堪能することに高いニーズを示している。

目的	整備予定の拠点の利用ニーズ把握のため
日時	令和元（2019）年 11 月 8 日（金）～11 月 18 日（月） 11 日間
対象者	福岡市、唐津市、佐賀市に在住の 20 歳から 69 歳の男女
回収数	800 票（佐賀市：100 票、唐津市：100 票、福岡市：600 票）
調査方法	インターネットを用いたアンケートを行い、調査票の記入依頼（配付）、回収を行う
アンケート 設問項目	（１）訪問経験、回数、訪問意向について （２）農業体験イベント等の援農の取組みについて （３）施設の利用意向について （４）拠点へのニーズについて
アンケート 結果	（１）訪問経験について ・玄海町への訪問経験について尋ねると、「訪れたことがある」以外が 48.3% であった。  ・浜野浦の棚田の写真を見せて訪問したいかについて尋ねると、「必ず訪問してみたい」「できれば訪問してみたい」が 70.1%と高い訪問意向を示した。年代別にみると、男性の 30 代、40 代、女性の 20 代、30 代と年代が低いほど訪問したいと回答した割合が高い。 

(4) 来訪者アンケート

家族連れや友人（カップル）連れで楽しみながら、
棚田の保全に寄与することのできる取組みや仕掛けが求められている。

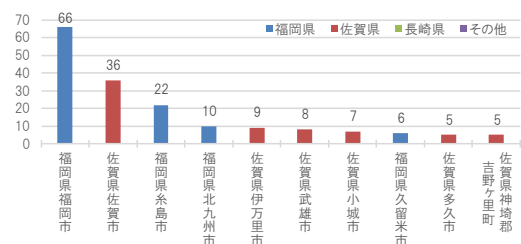
目的	観光動向・ニーズを探るため/援農ボランティア等のニーズ把握のため
日時	平成 30（2018）年 4 月 28 日（土）～5 月 4 日（金） 4 日間
対象者	浜野浦の棚田に来訪した観光客
配付・回収方法	対象となる観光客へ調査員がアプローチを実施する面接法を用いてアンケート調査を実施した
アンケート 設問項目	(1) 回答者の特徴 (2) 観光客の行動実態 (3) 棚田の保全に向けた取組み等（※代替案） (4) 棚田の景観を守るためのアイデア
アンケート 結果	(1) 回答者の特徴 ・性別は「女性」が 51.4%、年齢は「60 歳以上」が 31.4%。 ・居住地は「福岡県」が 44.9%、「佐賀県」が 18.2%、「熊本県」が 5.7%と続き、「関東地方」も 10.5%あり、北陸地方や海外からの来訪者もみられる。 (2) 観光客の行動実態 ・旅行人数は「2 人」が 48.4%、「3～4 人」が 22.4%と続く。性別でみると男性は 1 人の割合が高く、年齢別でみると 60 歳以上は、20 人以上の割合が高く、居住地別でみると福岡県は、20 人以上の割合が高い。 ・旅行の形態は「家族旅行」が 42.4%、「友人・知人での旅行」が 24.4%と続く。年齢別でみると、20 歳代は「友人・知人での旅行」が最も多く、それ以外の年代は「家族旅行」が最も多い。

(5) 旧上場 4 町来訪者アンケート

福岡市、佐賀市、北九州市など（車で 2 時間圏内まで）からの観光客が多い。
玄海町の観光拠点である浜野浦の棚田は繰り返し訪れる観光客が周辺施設よりも少ない。

目的	本調査は、唐津市北部（旧呼子町、旧鎮西町、旧肥前町）及び玄海町を訪れる観光客の実態や動向、ニーズを把握するため、主要観光施設（唐津市内 3 地点、玄海町内 3 地点の計 6 地点）を利用する観光客を対象にアンケート調査を実施
日時	令和 2 年（2020）年 9 月 20 日（日）
対象者	6 地点に来訪した高校生以上を対象（対象エリアに在住の方は除く）とする。 なお、対象エリアとは「唐津市北部（旧呼子町、旧鎮西町、旧肥前町）」と「玄海町」
配付・回収方法	対象となる観光客へ調査員がアプローチを実施する面接法を用いてアンケート調査を実施した
アンケート 設問項目	(1) 訪問の頻度 (2) 観光形態（人数・宿泊の有無）

	(3) 目的地（メインの目的地・その他立ち寄り箇所） (4) 来訪の目的 (5) 交通手段 (6) 消費金額 (7) 滞在時間 (8) 本エリア滞在の満足度 (9) 来訪意向 (10) 本エリアの良かったこと・改善すべきこと (11) 回答者属性（性別・年齢・居住地）
アンケート結果	(1) 訪問の頻度 ・浜野浦の棚田は1回目の訪問の観光客が35%となっているものの、下記の拠点は10回以上訪問している観光客が3割程度見られリピーターの獲得に成功している。 ・道の駅桃山天下市やひぜん夢美咲 ・海上温泉パレア ・玄海町次世代エネルギーパークあすぴあ (2) 観光形態（人数・宿泊の有無） ・旅行の形態としては家族旅行で訪れている観光客が約6割となっている（58.9%）ものの、20代未満と20代は友人・知人での旅行が半分以上を占めて（72.7%、55.6%）おり、若年層の観光形態はその他の年代と違う傾向となっている。 (3) 目的地（メインの目的地・その他立ち寄り箇所） ・ひぜん夢美咲と浜野浦の棚田は調査地点と目的地が違っていると回答している方が多く経由地となっている。ひぜん夢美咲はエリア外の別の場所が目的地（52.0%）となっており、長崎県の鷹島などが目的地として考えられる。（宿泊の傾向も高い）浜野浦の棚田はエリア内の他の場所が目的地（40.8%）となっておりエリア内で周遊していることが分かる。（滞在時間も上記2施設は30分程度が多くなっている） (4) 来訪の目的 ・旅行人数は2人の旅行が多く夫婦2人の旅行と考えられるものの、呼子台場ブラザと玄海町次世代エネルギーパークあすぴあのみ3～4人の旅行が多く、「食＋アクティビティ（自然景観、温泉、買い物、アウトドア）」が家族連れを誘引していると考えられる。 (5) 本エリア滞在の満足度 ・自然の満足度について「大変良い」と回答が最も多いのは下記の2施設である。この施設は経由地として立寄る傾向の強い場所であるものの、エリア全体の満足度を底上げしている。 ・ひぜん夢美咲（59.0%） ・浜野浦の棚田（56.2%） (6) 旅行者の出発地 ・エリア全体でみると福岡市、佐賀市、北九州市、久留米市、糸島市からの観光客が多く概ね車で2時間圏内までの来訪者が多い。



■来訪者の居住地（玄海町の調査地点来訪者）

（６）観光の取組み

町内の資源を活用し商品開発やイベント、情報発信の取組みが行われているものの、唐津観光協会玄海支所の撤退など、情報発信等観光を推進する体制に課題を抱えている。

町内では、地域振興会、地域おこし協力隊が中心となり、町民や役場職員の協力を得て観光の取組みが行われている。また、町内の特産品を使用した商品開発も行われている。加えて、浜野浦の棚田の保全に関するイベントなどが行われている。

しかし、唐津観光協会玄海支所の撤退に伴い、情報発信活動が減少している。

＜① 観光の取組み・イベント・情報発信等＞

出典	項目	取組み概要
佐賀銀行 唐津ブロック SDG s 異業種 交流会 R2. 11. 5	福岡から見た 唐津の観光について発表	SDG s 異業種交流会のなかで、九州経済調査協会の観光振興担当による福岡から見た唐津の観光についての発表が行われた。さらなる唐津観光の振興に向けて、グルメの発掘・開発や知られざる観光資源のPR強化の必要性が発信された。
読売新聞 R2. 9. 19	浜野浦の棚田 新米販売	地域おこし協力隊の国重さん・橘高さんらが「浜野浦夕日組合」の人達が育てた「浜野浦の棚田米」と名付けた新米を観光客らに販売した。
佐賀新聞 R1. 7. 6	鮮魚移動販売	水産物の加工販売を手掛ける玄海町平尾の外津水産加工の野寄星矢代表は4月から、鮮魚の移動販売サービスを始めた。将来的には複数のプレハブを町内に置き、交流所兼スーパーとして運営する構想を描いている。
佐賀新聞 R1. 7. 4	SNSで「浜野浦」発信	福岡市博多区出身の国重亜樹奈さんが4月から玄海町の地域おこし協力隊として働いている。棚田のアピールのために作った会員制交流サイト（SNS）で情報発信をしている。農作業を手伝いつつ、地元住民の代わりに耕作してくれる人を募る棚田オーナー制の導入を検討している。
佐賀新聞 R1. 7. 4	シーカヤック体験会	シーカヤックの体験会が6月、玄海町の外津湾で開かれた。体験会は月1回程度、唐津シーカヤッククラブが開いていて、当日の気候状況で玄海町を中心に肥前町のいろは島などでも遊ぶ。
佐賀新聞 R1. 7. 4	玄海町 フォトコンテスト	玄海町地域振興会が毎年開き、今年で20回目となる、玄海町の魅力を伝えるフォトコンテストで入賞作が決まった。入賞作12点は町発行のカレンダーに使われる。
佐賀新聞 R1. 7. 3	勝手に玄海町親善大使 の取組み	田舎ならではの温かい交流がある玄海町で、地域に恩返しをしようと中山啓輔さんは勝手に町の親善大使を名乗っている。町外から来た人と地域住民が交流する場を作りなど、住民目線で町の魅力を発信できるものを考えている。



<② 商品開発・ブランド化>

出典	取組み	取組み概要
佐賀新聞 R1. 7. 7	薬草栽培	玄海町が新産業の柱として取組んできた薬用植物の栽培研究事業で、認知度の高さや他の植物に比べ手間がかからない点で、ドクダミ栽培農家が増えている。町は作物の栄養剤で知られるフローラ（三重県）と連携して薬草栽培の実用化を急いでいる。
佐賀新聞 R1. 7. 7	地酒「音音」	地酒「音音」は、鳴滝酒造（唐津市）と協力して、町産の棚田米コシヒカリだけで造られた。町は商品開発にあたり、「ガバメントクラウドファンディング」を利用し、100人から500万円の支援を受けた。
佐賀新聞 R1. 7. 7	健康食品 「正直ハーブのど飴」	玄海町で栽培されたキキョウとカンゾウの2種類の薬草が配合された「正直ハーブのど飴」を美容健康食品を取り扱う地域商社カラツスタイル（唐津市）が作った。
佐賀新聞 R1. 7. 3	タイの干物 「たべT A I」	唐津青翔高の情報ビジネス系列の生徒が、食料品の製造販売を手掛けるはかた本舗（福岡県）と共同でイトヨリダイの干物を使ったおやつ「たべT A I」を商品化した。今年は玄海町も含めた3者で、町産食材を使った商品作りにも挑戦する。
佐賀新聞 R1. 7. 3	養殖マダイ「穂州鯛」	渡邊水産が、養殖マダイを「穂州鯛」と命名し、ブランド化を図っている。
佐賀新聞 R1. 7. 3	ミカン、イチゴを使ったサイダー	玄海町や唐津市の1次産業従事者らでつくる団体「玄海ホットライナー」が、町産のミカンやイチゴを使ったサイダー2品を開発した。



<③ 棚田の田植え、稲刈り関連>

出典	取組み	取組み概要
読売新聞 R2. 10. 28	石積み技術継承へ講習	「浜野浦の棚田」で昔ながらの石積み技術を学び、継承する講習会を開き、地元の土木業者らが参加した。
佐賀新聞 R1. 9. 18	絶景の浜野棚田稲刈り	脇山伸太郎町長をはじめ玄海町役場の職員約30人が9月14日に、地域おこし協力隊の呼びかけに応じて、地域住民と共に浜野浦の棚田で稲刈りを行った。
佐賀新聞 R1. 5. 6	大学生が田植え体験	4月29日に大学生約20人が田植えを体験した。小雨の中、泥に足を取られながら稲を丁寧に植えた。

(7) 現状を踏まえた SWOT 分析

絶景や絶品があり、福岡市から 1 時間半の立地であるという強み・機会がある。
一方で、認知度不足や観光コンテンツが少ない、新型コロナウイルス感染症の影響などの弱み・脅威がある

町内には、浜野浦の棚田に代表される自然や地域固有の食文化などの観光資源が豊富にあり、約 150 万人の人口を有する福岡市から 1 時間半の立地であるという、観光戦略を考えるうえでプラスとなる強み・機会がある。

一方、観光地としての認識不足や観光コンテンツが少ない、新型コロナウイルス感染症の影響などの弱み・脅威がある状況である。

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strength) - 江戸時代から継承されてきた浜野浦の棚田の景観 - 仮屋湾、三島公園などが玄海国定公園に指定 - 仮屋湾に代表される波が穏やかな海 - 鶏の煎り焼き、干し魚など地域固有の食文化 - 佐賀牛や真鯛、ミカンなどの優れた農畜水産物 11.9 億円（令和元年）を集めるふるさと納税 - 漁船でしか行けない海鮮料理店や旧保育園舎をリノベーションした仏料理店など個性ある飲食店 - 玄起海やホットランナーなどの地域おこし団体 - ファミリーなど教育旅行受入ができる民泊施設 - あすびあ等エネルギーを学ぶことができる施設 - 海を眺める露天風呂が人気の玄海海上温泉パレア - 棚田保全や外貨獲得を担う 2 名の地域おこし協力隊 - 商品開発等を行う唐津青翔高校、浜野浦の棚田の保全に協力する玄海みらい学園（小中一貫校） - 町の未来に投資できる豊かな財源環境（電源立地に関する交付金とふるさと納税由来の原資） - 佐賀新聞や NHK 佐賀、福岡の LOVE FM など、複数メディアでの活動紹介の実績が豊富	弱み (Weakness) - 一人あたりの観光消費額が少ない（町：1,295 円、佐賀県：3,456 円、唐津市：3,989 円）（滞在時間が短く、消費場所が少ない） - 福岡都市圏での観光地としての認知度不足（原発のイメージも強い） - 唐津市中心部や呼子までは観光客が多いものの、玄海町までは来ていない - 町内の農家戸数の減少（15 年間で約 2 割減） - 浜野浦の棚田の耕作率減少（約 4 割が放棄地等） - 浜野浦の棚田の来訪者は、5 月に集中するなど季節と時間帯に極端な偏りがある - 唐津観光協会玄海支所の撤退に伴う情報発信活動の減少 - 玄海海上温泉パレアの集客・売上の低迷（指定管理者の運営に課題） - 公共交通機関が充実していない - 玄海町外に住む自治体職員（特に若手職員）の増加
外部環境	機会 (Opportunity) - 福岡都市圏から呼子エリアへの多数の観光客の来訪実績あり（イカと朝市を目的とした観光客） - 福岡都市圏から 1 時間半の立地環境 - with コロナによるマイクロツーリズム起点の復活 - コロナ禍での通販など巣ごもり消費の拡大 - Airbnb などオンライン型観光体験サービスのプラットフォームの整備と利用拡大 - 都市部に立地する企業のリモートワークの推進やワーケーションに関するニーズの拡大 - 西九州道から玄海町へのアクセス時間を短縮する県道整備（現在工事中） - 地元議員等の議員立法による棚田地域振興法の成立 - 資源エネ庁の地域のちからプロジェクトなど、外部の支援者が多く存在（人的ネットワーク）	脅威 (Threat) - 新型コロナウイルス感染症による観光行動の自粛 - インバウンド観光客の一時来訪停止 - 新型コロナウイルス感染症の第二波に対する警戒 - 豪雨など自然災害の頻発と甚大化 - ふるさと納税制度の継続性（泉佐野判決を踏まえた国の動き） - 原発廃炉作業に伴う将来的な交付金の減少

4. 玄海町の観光における施策体系

(1) 現状・課題を踏まえた基本方針及び事業

現状・課題を踏まえた基本方針・事業を示す。具体的な内容は P17 以降を参照。

現状・課題	コンセプト	基本方針	事業		
・今後我が国の国内旅行者数は減少していくと推測できる。(国内の観光の状況/P2) ・県内で増加している訪日外国人に対する取組みが求められつつあるものの、新型コロナウイルスの影響で訪日外国人が減少している。(海外からの観光の状況/P3) ・絶景や絶品があり、福岡市から1時間半の立地であるという強み・機会がある。一方で、認知度不足や観光コンテンツが少ない、新型コロナウイルス感染症の影響などの弱み・脅威がある。(⑦現状を踏まえたSWOT分析/P14) ① 呼びたい客層を明確にし、客層のニーズに合った情報発信が必要 玄海町でアピールしたい観光資源や商品を、観光客とつなげることが必要である。誰にとって魅力的な観光資源か、どの地域の観光客に響くのかを整理して情報発信をする必要がある	マーケットに向けてのコンセプト 絶景と絶品による癒しの空間 海や山の織りなす絶景や海や山を使ったここでしかできない遊び・体験の提供 地域の食（海の食材、山の食材を使った郷土料理）の提供やそれらを狙ったターゲットに届ける情報発信	基本方針1： 観光地としての認識を向上させるための情報発信	【事業1】 観光動態の把握と情報発信 【事業2】 ホームページの改修と運営 【事業3】 プロモーションの実施	前期（2021・2022） ●都市圏等で発信力のあるメディア（LOVE FM、西日本新聞等）との連携 ○玄海町の観光情報を集約したものとして現在のホームページを強化（SNSや動画もリンクさせる） ○出来るだけ最新の情報提供ができるように、町内の観光情報を集約して掲載が出来る体制づくり ○プロモーションの素材となる写真の通年撮影 ○20～30代や女性をターゲットにしたプロモーションの実施 ●SNSや動画配信サイトを活用したプロモーションの実施	後期（2023～2025） ●近隣市町に来ている観光客の観光動態を把握するための町内外におけるアンケートの実施（5年に1度の実施） ●ソーシャルメディアにおけるロコミ情報の蓄積と向上 ○町のホームページと地域商社ホームページの住み分け（遊び・体験の予約を地域商社ホームページで実施など） ○20～30代や女性をターゲットにした事業展開 ○玄海町のみならず、周辺市町、広域観光ルートと連携した動画等の制作と配信 ○町内の自然風景を題材にしたドローン教室等の実施 ○対外的にコンセプトを伝達するためのストーリーブックの作成・配付
・豊かな自然、海のレジャー、祭りや史跡、食など様々な特長がある。(①玄海町の主な観光資源/P5) ・玄海町は佐賀県全体や唐津市と比べて一人あたりの観光消費額が少ない。(②玄海町の観光の現状/P6) ・浜野浦の棚田は、潜在的な来訪意向が高い。また、来訪者は自然環境や食を堪能することに高いニーズを示している。(③インターネットアンケート/P8) ・家族連れや友人連れで楽しみながら、棚田の保全に寄与することのできる取組みや仕掛けが求められている。(④来訪者アンケート/P10)	② 食・自然・農業などの魅力的な資源をコンテンツ化する活動が必要 観光消費額を向上させ、観光で地域が稼げるようになる必要がある。そのためには魅力的な観光資源を磨き上げ観光コンテンツとして整備する必要がある	基本方針2： 地域資源を魅力的な観光コンテンツとして商品化する取組みの実施	【事業4】 景観保全の取組み 【事業5】季節ごとのイベントの実施 【事業6】 食などを商品として磨き上げる取組み 【事業7】 滞在型の観光コンテンツの造成	●浜野浦の棚田だけではなく石積の修復活動や企業との連携における保全活動の実施 ●景観作物（コスモス、ひまわり）を植える活動の実施 ●目的地となる集客イベントの造成・実施 ●地域イベント補助金等支援制度の継続 ●ふるさと納税の商品の開拓と磨き上げ ●ふるさと納税の都市圏納税者を伸ばすためのコンテンツの強化 ○都市圏のレストランや小売店と連携し、玄海町の食材を消費してもらう繋がりづくり ●地元素材を生かしたお土産品の開発 ●絶景を生かした空撮（ドローン）やキャンプ等の遊び・体験プログラムの検討 ●大学生を対象にした試行事業の実施 ●団体宿泊補助の継続	●保全活動の取組みの拡大 ○集客イベントの定期化・収益化 ○都市圏で玄海町に焦点を当てたメニューの開発を促す取組み ●都市圏で玄海町に焦点を当てたイベントの実施 ○手軽に購入できるお土産品の収益化やギフトの開発 ○宿泊を喚起するためのナイトタイムメニューや2日間かかる体験の創出検討 ○町民会館を活用したスポーツ合宿と観光を組み合わせた事業の推進 ○価値のある体験に興味を示す20～30代に対応した滞在型の観光コンテンツの造成（海遊び・キャンプ・自転車）
・圏域全体では多くの観光客が訪れているものの、玄海町の観光入込客数は多くない。(②玄海町の観光の現状/P6) ・福岡市、佐賀市、北九州市など（車で2時間圏内まで）からの観光客が多い。玄海町の観光拠点である浜野浦の棚田は繰り返し訪れる観光客が周辺施設よりも少ない。(⑤旧上場4町来訪者アンケート/P10)	内部に向けてのコンセプト 町全体での観光事業の機運UP 観光客を受入れ、滞在時間を伸ばすための環境整備や、町の観光事業関係者で観光について協議する町の観光について考える機会の創出	基本方針3： 近隣市町に訪れている観光客に滞在を促し、滞在時間を伸ばす取組みの実施	【事業8】 回遊性向上のための仕掛けづくり 【事業9】 周辺市町との連携による広域観光ルートの形成	○観光施設までの案内サインの計画 ○上場4町で観光について協議や情報交換する場の創出 ○有田町などとの連携による、近隣市町と連携したPRの実施 ○バスツアーの造成 ●着地型旅行の受け入れをしている教育旅行の活動の推進（旧上場4町での連携等）	○観光拠点施設の整備 ○サインの順次整備 ○有浦川沿いの活用検討 ○観光のワンストップ窓口となる観光拠点施設の整備（基本・実施設計） ○試行を踏まえた観光ルートの見直し・確立
・町内の資源を活用し商品開発やイベント、情報発信の取組みが行われているものの、唐津観光協会玄海支所の撤退など情報発信に課題を抱えている。(⑥観光の取組み/P12) ・町内外の観光関係者で町の観光について考える機会が必要（勉強会意見より）		基本方針4： 観光に関わる人材の育成や観光について考える機会の創出	【事業10】 人材育成の推進 【事業11】 観光を推進する中核組織の設立 【事業12】 町の観光について考える機会の創出	○遊び・体験を商品にするためのガイド・インストラクターの育成 ●地域商社の確立 ○ふるさと納税の事務受託の確立（地域商社） ●観光補助事業の継続 ○観光に関わる事業者などの観光関係者の意見交換と進捗確認（アクションプランの確認）の場の創出	○遊び・体験を商品にするためのガイド・インストラクターの育成・起業支援 ○ふるさと納税以外の自主事業の拡大（地域商社） ○DMO法人としての観光庁認定の検討（地域商社） ○進捗確認とアクションプランの整理・共有 ○KPIの進捗管理 ○観光地経営の視点に立った運営
④ 情報発信の取組みを担う人材やそれらの観光関係者がともに考える機会が必要 観光に関わる関係者の育成が必要である。また、それらの観光関係者が一緒に町の観光について考える機会が少なく、それぞれで活動している状況のため、情報を共有し町の観光について考える機会の創出が必要である					

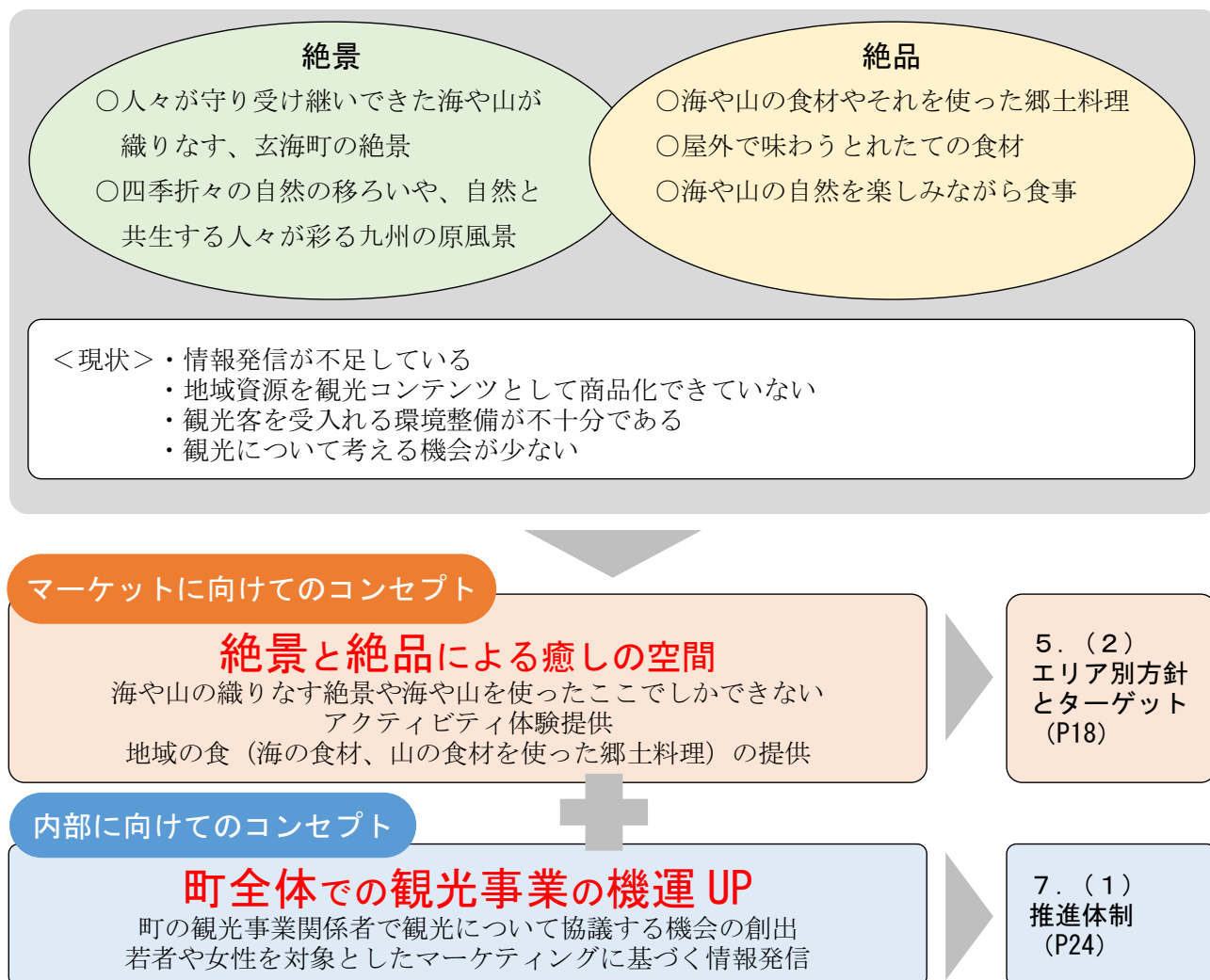
② 食・自然・農業などの魅力的な資源をコンテンツ化する活動が必要
観光消費額を向上させ、観光で地域が稼げるようになる必要がある。そのためには魅力的な観光資源を磨き上げ観光コンテンツとして整備する必要がある

※●は既存事業、○は新規事業を示す

5. コンセプトとエリアイメージ

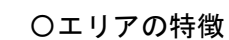
(1) コンセプト

玄海町には観光客を惹きつけている自然環境（絶景）や食材や食文化（絶品）があるものの、それらの地域資源を観光コンテンツとして観光客に提供できていないという課題がある。そのため、絶景と絶品を組み合わせることで誘客することに力を入れ観光事業を実施する。



玄海町の各エリアの活用イメージを示す。点在している観光拠点を活用して、それぞれのエリアで滞在できるプログラムの造成を行う。加えて、玄海町の観光プラットフォームとして浜野浦の棚田周辺に情報発信や受付機能を持った施設整備の検討を行うことを想定している。

○エリアイメージと特徴



ファミリーレジャーエリア	アクティビティエリア（海）	アクティビティエリア（山）
・ エリアの特徴 エネルギーについて学習できる施設や公園を備えた施設があり、家族連れが長時間楽しめるエリア。 周辺市町からの来訪者が多い。	・ エリアの特徴 内海の穏やかな海やそこに沈む夕日海のアクティビティなどを楽しめるエリア。 海上温泉パレアは町民に親しまれており、釣り堀は福岡市などからも来訪者が多い。	・ エリアの特徴 川によって形成された浸食谷に、築かれてきた棚田やダム周辺の遊歩道などの自然風景や散策を楽しめるエリア。 近隣市町や県外からの来訪者が多い。

ファミリーレジャーエリア

-

-
- A photograph of a modern building with a large glass facade, reflecting the sunset sky. The building is situated on a waterfront, with a body of water and a distant shoreline visible in the background. The sky is filled with soft, colorful clouds, and the sun is low on the horizon, creating a warm, golden glow. The building's interior lights are visible through the glass, and the overall atmosphere is serene and contemporary.

A photograph of a sunset over a body of water, with silhouettes of people and structures in the foreground. The sun is a bright orange circle in the sky, reflecting on the water. In the foreground, several people are silhouetted against the water, and there are some structures or boats. The overall scene is peaceful and scenic.



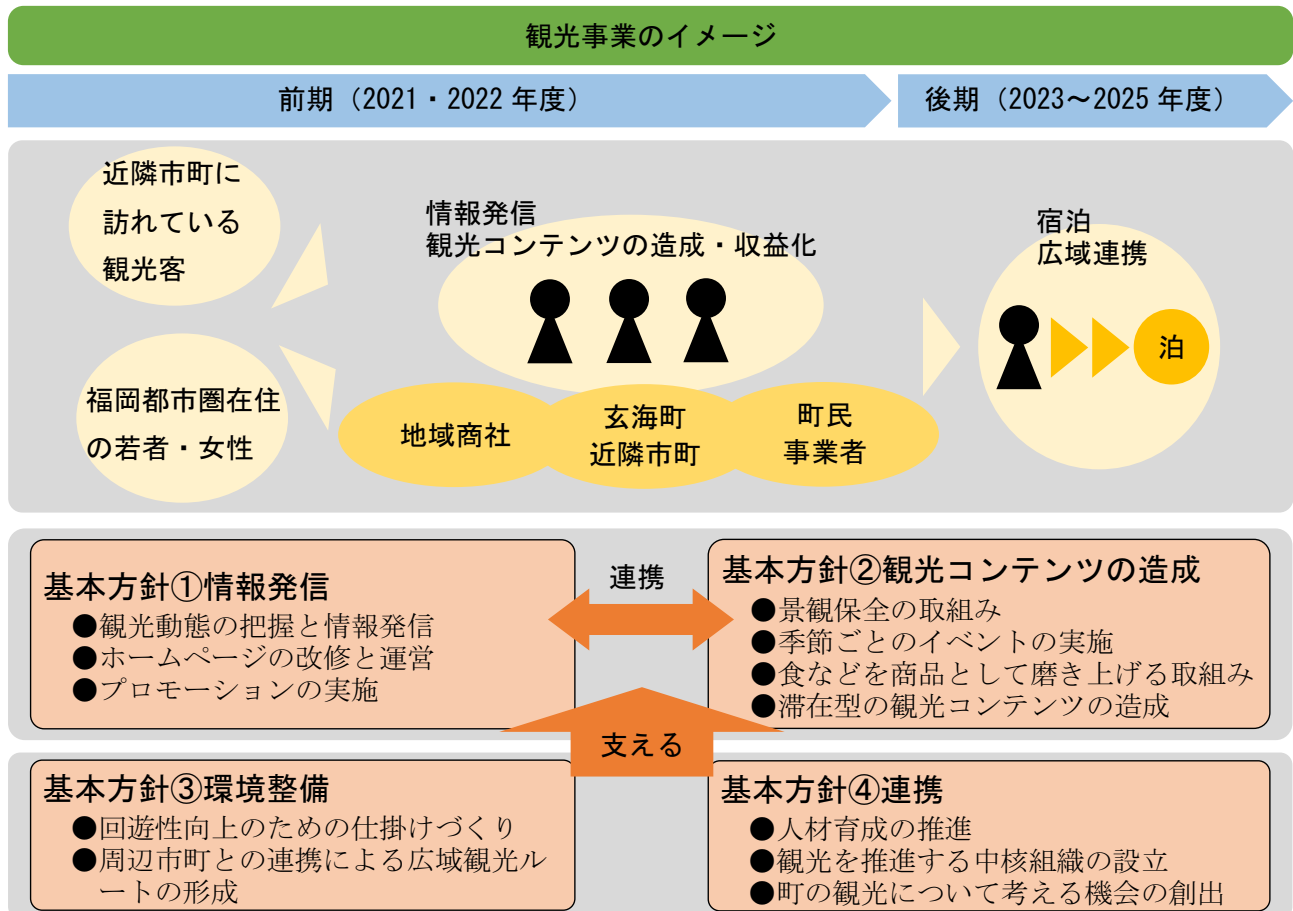
女性の視点に立ったマーケティングを実施し、ヘルスツーリズム（美容や温泉，食など健康増進）など新しい観光商品を造成する。

6. 基本方針と実施事業

(1) 基本方針

本計画の5か年（2021年度～2025年度）では下記のようなイメージで観光事業を推進する。

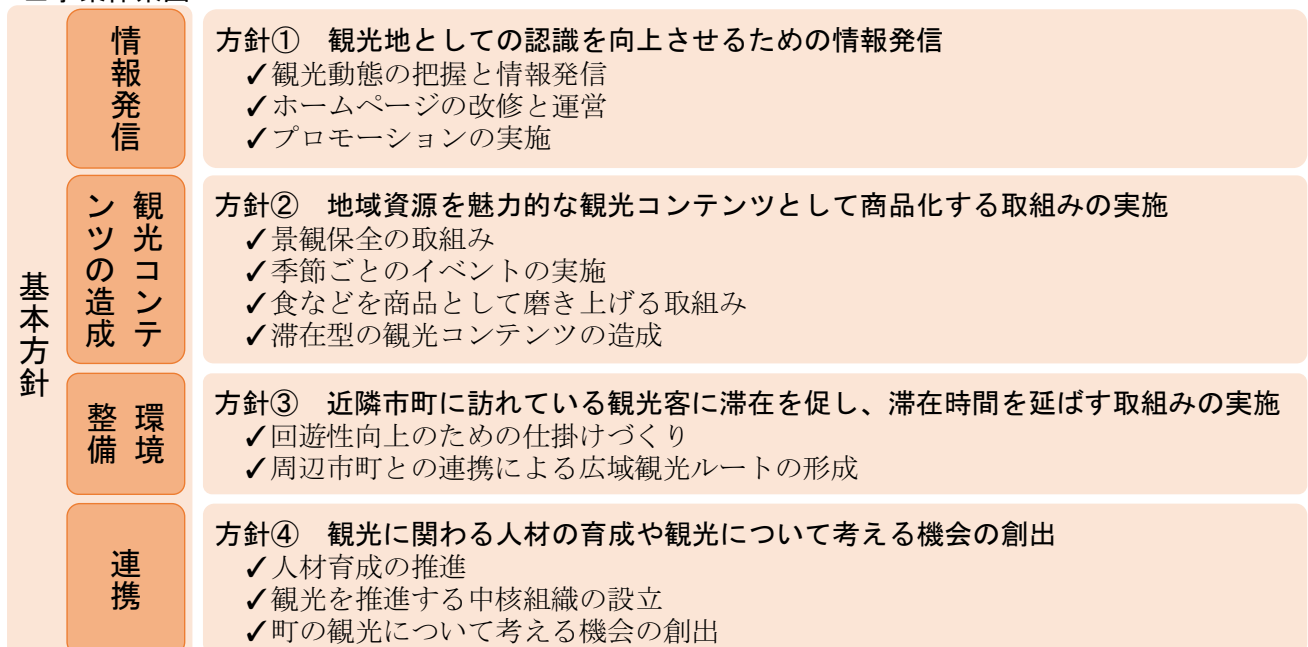
「観光客を受入れる体制づくり＝情報発信＋観光コンテンツの造成＋環境整備＋連携」の4つの基本方針で具体的なアクションプランを策定する。



(2) 実施事業

基本方針に紐づく事業は下記ようになる。

■事業体系図



方針① 観光地としての認識を向上させるための情報発信

【事業1】観光動態の把握と情報発信

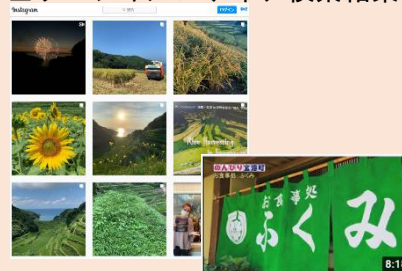
＜前期＞

- ・都市圏等で発信力のあるメディア（LOVE FM、西日本新聞等）との連携

＜後期＞

- ・近隣市町に来ている観光客の観光動態を把握するための町内外におけるアンケートの実施（5年に1度の実施）
- ・ソーシャルメディアにおける口コミ情報の蓄積と向上

■ソーシャルメディア検索結果



《実施主体》 地域商社・唐津観光協会

【事業2】ホームページの改修と運営

＜前期＞

- ・玄海町の観光情報を集約したものとして現在のホームページを強化（SNSや動画もリンクさせる）
- ・出来るだけ最新の情報提供ができるように、町内の観光情報を集約して掲載出来る体制づくり
- ・プロモーションの素材となる写真の通年撮影

＜後期＞

- ・町のホームページと地域商社ホームページの住み分け（遊び・体験の予約を地域商社ホームページで実施など）

■玄海町ホームページ観光情報



《実施主体》 開設・玄海町
更新・地域商社

【事業3】プロモーションの実施

＜前期＞

- ・20～30代や女性をターゲットにしたプロモーションの実施
- ・SNSや動画配信サイトを活用したプロモーションの実施

＜後期＞

- ・20～30代や女性をターゲットにした事業展開
- ・玄海町のみならず、周辺市町、広域観光ルートと連携した動画等の制作と配信
- ・町内の自然風景を題材にしたドローン教室等の実施
- ・対外的にコンセプトを伝達するためのストーリーブックの作成・配付

■玄海町パンフレット



《実施主体》 地域商社・唐津観光協会

方針② 地域資源を魅力的な観光コンテンツとして商品化する取組みの実施

【事業4】景観保全の取組み

＜前期＞

- ・ 浜野浦の棚田だけではなく石積の修復活動や企業との連携における保全活動の実施
- ・ 景観作物（コスモス、ひまわり）を植える活動の実施

＜後期＞

- ・ 保全活動の取組みの拡大

■玄海町職員による田植え



《実施主体》玄海町・耕作者・地元事業者・唐津青翔高等学校

【事業5】季節ごとのイベントの実施

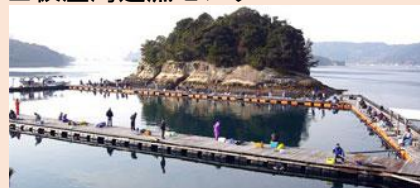
＜前期＞

- ・ 目的地となる集客イベントの造成・実施
- ・ 地域イベント補助金等支援制度の継続

＜後期＞

- ・ 集客イベントの定期化・収益化

■仮屋湾遊漁センター



《実施主体》玄海町・地域商社・唐津観光協会

【事業6】食などを商品として磨き上げる取組み

＜前期＞

- ・ ふるさと納税の商品の開拓と磨き上げ
- ・ ふるさと納税の都市圏納税者を伸ばすためのコンテンツの強化
- ・ 都市圏のレストランや小売店と連携し、玄海町の食材を消費してもらう繋がりづくり
- ・ 地元素材を生かしたお土産品の開発

＜後期＞

- ・ 都市圏で玄海町に焦点を当てたメニューの開発を促す取組み
- ・ 都市圏で玄海町に焦点を当てたイベントの実施
- ・ 手軽に購入できるお土産品の収益化やギフトの開発

■農産物

玄海町自慢の農産物



佐賀牛

柔らかい肉質と旨みが特長の佐賀牛。玄海町はその生産部門で大きなシェアを占めています。

《実施主体》事業者（生産者、加工業、レストラン等）・地域商社

【事業7】滞在型の観光コンテンツの造成

＜前期＞

- ・ 絶景を生かした空撮（ドローン）やキャンプ等の遊び・体験プログラムの検討
- ・ 大学生を対象にした試行事業の実施
- ・ 団体宿泊補助の継続

＜後期＞

- ・ 宿泊を喚起するためのナイトタイムメニューや2日間かかる体験の創出検討
- ・ 町民会館を活用したスポーツ合宿と観光を組み合わせた事業の推進
- ・ 価値のある体験に興味を示す20～30代に対応した滞在型の観光コンテンツの造成（海遊び・キャンプ・自転車）

■唐津シーカヤッククラブ



■海上温泉パレア



《実施主体》事業者（マリンスポーツ、アウトドア等）・地域商社・海上温泉パレア・唐津・玄海観光交流社

方針③ 近隣市町に訪れている観光客に滞在を促し、滞在時間を伸ばす取り組みの実施

【事業8】回遊性向上のための仕掛けづくり

<前期>

- ・観光施設までの案内サインの計画

<後期>

- ・観光拠点施設の整備
- ・サインの順次整備
- ・有浦川沿いの活用検討
- ・観光のワンストップ窓口となる観光拠点施設の整備（基本・実施設計）

《実施主体》玄海町

■案内サインイメージ



【事業9】周辺市町との連携による広域観光ルートの形成

<前期>

- ・上場4町で観光について協議や情報交換する場の創出
- ・有田町などとの連携による、近隣市町と連携したPRの実施
- ・バスツアーの造成
- ・着地型旅行の受け入れをしている教育旅行の活動の推進（旧上場4町での連携等）

<後期>

- ・試行を踏まえた観光ルートの見直し・確立

《実施主体》玄海町・唐津市・唐津観光協会・唐津・玄海観光交流社

■観光ルートイメージ



方針④ 観光に関わる人材の育成や観光について考える機会の創出

【事業10】人材育成の推進

<前期>

- ・遊び・体験を商品にするためのガイド・インストラクターの育成

<後期>

- ・遊び・体験を商品にするためのガイド・インストラクターの育成・起業支援

■民泊での釣り体験



《実施主体》町民・地域商社・地元事業者・地域団体

【事業11】観光を推進する中核組織の設立

<前期>

- ・地域商社の確立
- ・ふるさと納税の事務受託の確立（地域商社）
- ・観光補助事業の継続

<後期>

- ・ふるさと納税以外の自主事業の拡大（地域商社）
- ・DMO法人としての観光庁認定の検討（地域商社）

《実施主体》地域商社

■玄海町地域振興会



【事業12】町の観光について考える機会の創出

<前期>

- ・観光に関わる事業者などの観光関係者の意見交換と進捗確認（アクションプランの確認）の場の創出

<後期>

- ・進捗確認とアクションプランの整理・共有
- ・KPIの進捗管理
- ・観光地経営の視点に立った運営

■関係者を交えた会議の様子



《実施主体》玄海町・地域商社・地元事業者・地域団体・唐津観光協会

(3) 観光戦略の KPI

下記のように観光戦略の KPI を定める。

KPI	現状値 2020 年度	目標値 2021 年度	目標値 2022 年度	目標値 2023 年度	目標値 2024 年度	目標値 2025 年度
2021年ウェブサイト設立 (件)	－	サイト 立ち上げ	－	－	－	－
体験プログラムの件数 (件)	－	5	7	10	12	15
一人あたり観光消費額 (円／人)	1,295	1,440	1,580	1,710	1,950	2,000
観光プログラム消費額 (千円／年)	－	500	875	1,250	1,625	2,000

(4) 2021 年度のアクションプラン

2021 年度に実施する事業を下記のように定める。

■アクションプラン一覧

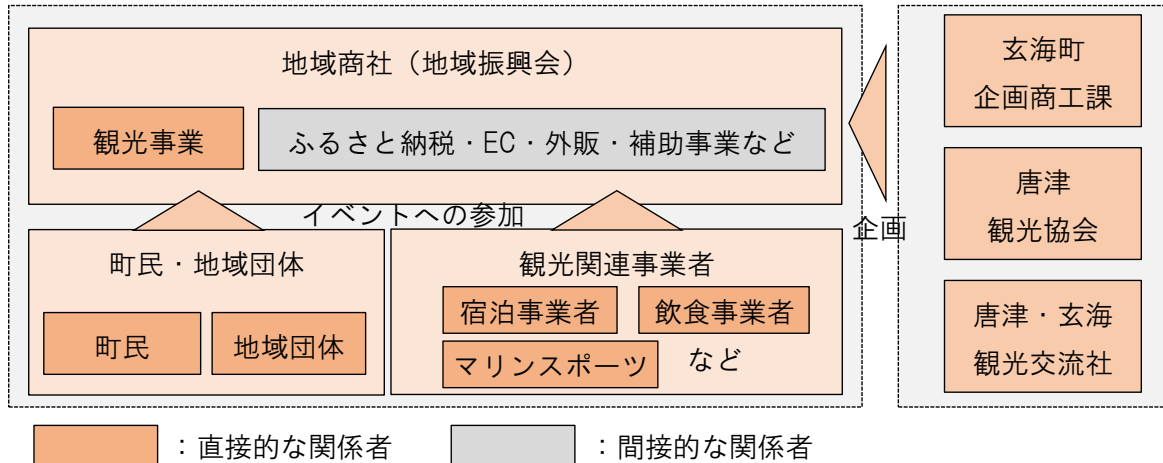
		2021 年度のアクションプラン	
情報発信	方針① 観光地としての認識を向上させるための情報発信	✓観光動態の把握と情報発信	○都市圏等で発信力のあるメディア（LOVE FM、西日本新聞等）との連携
		✓ホームページの改修と運営	○玄海町の観光情報を集約したものとして現在のホームページを強化（SNS や動画もリンクさせる）
		✓プロモーションの実施	○SNS や動画配信サイトを活用したプロモーションの実施
観光コンテンツの造成	方針② 地域資源を魅力的な観光コンテンツとして商品化する取り組みの実施	✓景観保全の取り組み	○浜野浦の棚田だけではない石積の修復活動や企業との連携における保全活動の実施
		✓季節ごとのイベント実施	○目的地となる集客イベントの造成・実施
		✓食などを商品として磨き上げる取り組み	○ふるさと納税の都市圏納税者を伸ばすためのコンテンツの強化
		✓滞在型の観光コンテンツの造成	○絶景を生かした空撮（ドローン）やキャンプ等の遊び・体験プログラムの検討 ○大学生を対象にした試行事業の実施
環境整備	方針③ 近隣市町に訪れている観光客に滞在を促し、滞在時間を伸ばす取り組みの実施	✓回遊性向上のための仕掛けづくり	○観光施設までの案内サインの計画
		✓周辺市町との連携による広域観光ルートの形成	○上場 4 町で観光について協議や情報交換する場の創出 ○有田町などとの連携による、近隣市町と連携した PR の実施 ○バスツアーの造成
連携	方針④ 観光に関わる人材の育成や観光について考える機会の創出	✓人材育成の推進	○遊び・体験を商品にするためのガイド・インストラクターの育成
		✓観光を推進する中核組織の設立	○地域商社の確立
		✓町の観光について考える機会の創出	○観光に関わる事業者などの観光関係者の意見交換と進捗確認（アクションプランの確認）の場の創出

7. 戦略のマネジメント手法

(1) 推進体制

本計画の推進体制と各主体の役割を下記に示す。地域振興会を包含した地域商社を設立した。

■組織の関係図



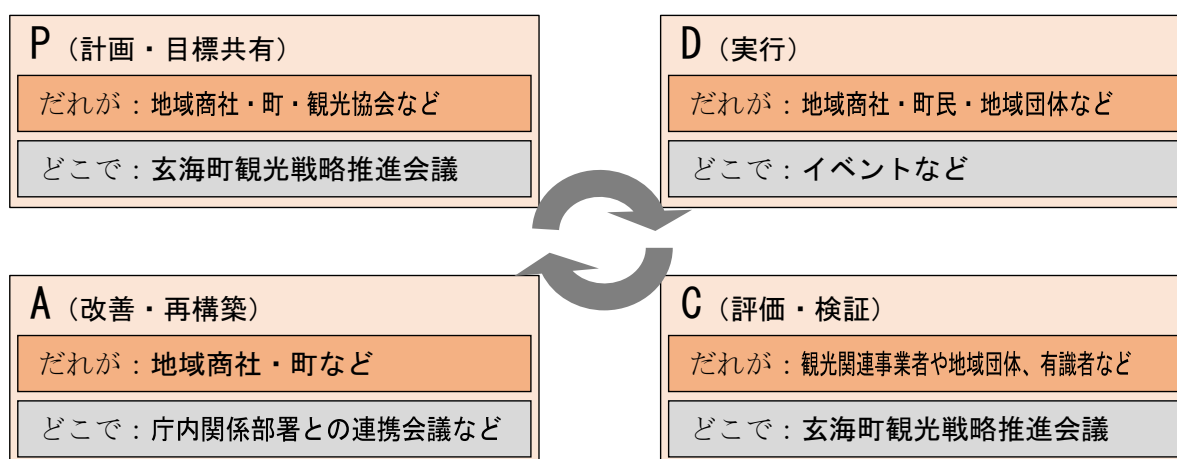
■各主体の役割

観光戦略に関わる各主体の役割	
①町民・地域団体の役割	町民は、地域の自然、歴史・文化、伝統行事やまつりの継承・保全に努めるとともに、観光関連事業者、観光関連団体、行政など他主体と協力・連携を図りながら、地域に愛着と誇りをもって主体的に地域づくりに参加するという重要な役割を担っている。 また、観光客や来訪者を本町が一体となって温かく迎え入れるためには、観光振興や地域づくりに対する町民一人ひとりの理解と“おもてなしの心”が必要である。
②観光関連事業者の役割	観光関連事業者は、観光客のニーズに対応した質の高いサービスの提供、おもてなしの心をもった接客が必要とされ、そのような人材の育成が重要である。 また、観光関連事業者同士の連携のみならず、町民、観光関連団体、他事業者、行政との連携を図りながら、積極的な観光情報の発信も必要である。 そのため、観光地や観光施設事業者が一体となったサービスの提供に主体的に取り組むとともに、サービス内容等の研究・検証を行い、おもてなしの改善・向上に努める必要がある。
③中核となる法人（地域商社）の役割	中核となる観光関連法人は、団体間の連携の強化を図り、効果的な誘客宣伝活動を行うとともに、観光振興事業の運営体制の強化や改善が求められる。加えて、長期的な観光戦略を基に、目的をもったイベント等の造成ができるスタッフの育成が必要である。 また、町民、観光関連事業者、行政との連携や調整を図りながら、玄海町の観光ブランドづくりに向けて、積極的に推進することが必要である。
④玄海町の役割	行政は、各関係団体との協働のもと、庁内関係部署との連携を十分に図りながら、本計画の施策を展開するとともに、町民、観光関連事業者、観光関連団体等が主体的に行う取組みを支援する。 また、観光イメージを確実に定着させるために、関係自治体と連携し、広くPRを展開するとともに、町を網羅しての観光情報の収集と蓄積に努め、町内外に広く提供する。 さらには、国、県、近隣自治体、九州観光推進機構等との連携を強化し、広域観光の展開を図るとともに、観光振興のための調査や研究を行い、その分析結果等も必要とする町民に広く提供する。

計画の推進体制	
①庁内関係部署との連携	本計画で掲げている施策には、観光主管課の職務分掌を超えた多様な分野での取組みが存在する。 そのため、観光振興を行政一丸となって推進するために、本計画に関連する庁内関係部署との連携、本計画の施策に関する情報交換や課題に対する意見交換を行い、本計画の円滑な推進を図る。
②玄海町観光戦略推進会議（仮称）の開催	本計画に掲げられている各種の施策や取組みを着実に実現していくためには、有識者や町内で活動する町民に率直な意見やアイデアをもらうことが必要となる。 そこで、観光関連事業者や地域団体、有識者などによる本計画の推進を目的とした「玄海町観光戦略推進会議」（仮称）を開催し、本計画に掲げられた様々な施策や取組みの推進状況について、検証する。 また、本計画は、マネジメントの方法に示すように PDCA サイクルにより継続的に事業改善を行い、社会情勢や市場のニーズの変化に対応できる体制を築く。

（２）マネジメントの方法

本計画では、計画・目標共有（PLAN）、実行（DO）、評価・検証（CHECK）、改善・再構築（ACTION）を行いながら、社会情勢や市場のニーズの変化に対応できる体制を構築する。



8. 資料編

(1) 玄海町の主な観光資源

A. 自然資源

中分類	小分類	一般名称	概要
自然景観	山岳	天狗岳	・ 仮屋にある山。
	滝	轟木の滝	・ 藤ノ平ダムに流れ込む溪流にある、小さな滝。
		お滝	・ 杉木立に包まれた値賀川内七ツ枝川上流にあり落差約 8m から 2 段階に流れ落ちるのは「下のお滝さん」。また「上のお滝さん」は「下のお滝さん」の上流にあり落差約 5m 程度の小滝。不動明王や地藏尊が祀られている。
		諸浦の滝	・ 花の木山中腹にある落差約 8m 程度の小滝。滝の周辺には大黒天像と猿田彦像がある。
	海岸 岬	浜野浦海岸	・ 透明感のある青く美しい海が広がり、夏は海水浴客に人気のスポット。背後には雄大な棚田を眺めることができる。
		トリカ崎	・ 大型のクロや青物が釣れる磯釣りのメッカ。
	岩石 洞窟	ワクド岩	・ 玄界灘に浮かぶ不思議な形の大きな岩は、長い月日の中で波が作り上げた自然の芸術品。 ・ 釣りのメッカとしても知られている。
動植物	動物	源氏ボタル	・ 町内でよく見られるのは源氏ボタル。よく見られる場所は、轟木の滝・田代・長倉・値賀川内などの水辺。
	植物	さくら	・ さくらは春いっせいに一群となって開花し、町民に親しまれ、町花にふさわしい花として指定。
		けやき	・ けやきの成木は、高さが 30m 程で枝は大きく材質は硬く、木目は美しい。そのような木のように大きく発展することを願い町木に指定。
その他	その他 自然 資源	浜野浦の 棚田	・ 玄海町の一角、小さな入り江に面した浜野浦地区は、海岸から駆け上がる階段のように、斜面を幾重にも連なる棚田が覆っている。 ・ 「浜野浦」の地名は、急傾斜になっている海岸、緩やかな丘、入り江にある集落ということで名付けられたと考えられている。浜野浦海岸に流れ込む延長約 2km の浜野浦川によって形成された浸食谷に築かれてきたのが棚田である。 ・ 面積 11.5ha の中に大小 283 枚の田んぼが幾重にも連なっている。 ・ 平成 6 年 農林水産省主催の「第 2 回美しい日本のむら景観コンテスト」に選ばれる。 ・ 平成 11 年 農林省主催の「日本の棚田百選」に選ばれる。 ・ 平成 19 年 NPO 法人地域活性化センターが実施する「恋人の聖地」に認定される。（※恋人の聖地プロジェクト） ・ 平成 23 年 佐賀県主催の「佐賀県遺産」に認定される。
その他	その他 自然 資源	里の秋彩	・ ピンクのじゅうたんを広げたように、田んぼ一面に咲き誇るコスモスは、地域の環境保全活動で植栽された、秋を彩る風物詩の一つ。

B. 人文資源

B-a. 史跡、神社・仏閣

中分類	小分類	一般名称	概要
文化史跡	史跡	値賀城跡 (城ノ山)	戦国期（16世紀）の値賀地方一帯を治めていた値賀伊勢守の城跡といわれる。現在は浄水場や畑となっており、土塁が一部残存しているだけである。
		毛利輝元 陣跡	- 安土桃山時代から江戸時代前期にかけての大名で豊臣政権五大老の一人。 - 陣跡は玄海町と唐津市との境に位置している。
		京極高次 陣跡	- 戦国時代から江戸時代初期の武将、大名。近江大津藩主、若狭小浜藩の初代藩主。 - 陣跡は玄海町と唐津市との境に位置している。
		長谷川秀一 陣跡	- 名護屋城跡周辺の山々には120余の諸大名の陣跡があるが、町内にはそのうち4陣跡がある。長谷川秀一陣跡は、そのなかの1つで、曲輪や石垣が良く残っている。山頂の長方形をした広場の北東辺と北西辺に石垣が続き、北西辺中央北寄りに門跡がある。 - 長谷川秀一は、織田信長の家臣だったが、本能寺の変後は豊臣秀吉に仕え近江日田城主（滋賀県）、また後に越前東郷11万石（福井県）の城主となった。 - 国指定特別史跡（昭和62年12月25日指定）
		木下利房 陣跡	- 尾根上に土塁が続いており、北西の郭には石垣も築かれ、遺構の残りは良好。 - 木下利房は、若狭高浜3万石（福井県）の城主。関ヶ原の戦いでは西軍に属し、所領を没収されるが、大阪の陣で功をあげ、備中足守2万5千石（岡山県）を与えられた。 - 国指定特別史跡（昭和62年12月25日指定）。
		長倉遺跡	- 長倉遺跡は、玄海町の中央に位置する長倉地区にある。 - 平成7年度の調査で、鎌倉時代（14世紀）と推定される石敷遺構が発見された。大小の自然石をほぼ一定の高さに極めて密に敷き詰めて並べてあった。 - 遺跡からは、青磁碗や白磁碗などの外国輸入品陶磁類や平安時代後期頃（12世紀）の瑞花双鳳八稜鏡とみられる銅鏡が出土した。また、石敷遺構の下には弥生時代の石棺墓3基が見つかり、そのなかには副葬品である勾玉・管玉・ガラス小玉があった。他には、土器・黒曜石など弥生時代の遺物が多量に見つかっている。 - 現在は、遺跡保存ため埋め戻している。
文化史跡	史跡	先部遺跡	- 古墳時代（6世紀）頃の横穴式石室を持つ、墳丘の直径9m前後の小円墳と推測している。 - 古墳の中心である玄室は、大小の玄武岩を用いて、長さ2.09m、奥幅1.88m、前後1.45mの大きさで築かれており、床面には20～30cm大の石板が敷き並べてあった。1号墳の石室からは、須恵器・土師器・鉄刀・ガラス玉類の埋葬品が見つかり、石室の前面からは須恵器などが見つかった。

		諸浦窯跡	・玄海町役場裏の小丘陵地にある。 ・江戸時代（18世紀中頃）に、日常使用する磁器の茶碗類を焼いた窯跡。平成5年度調査で焼成室2室が確認され、器を焼く砂床・火床も残っていた。また、磁器碗片も出土した。 ・現在は保存のため埋め戻している。 ・江戸時代の産業のなかで、窯業について知ることのできる町内では唯一の窯跡。
		高江城跡	・戦国時代（16世紀）、松浦党の一族である有浦氏が拠った中世の山城跡といわれている。標高約130mの通称「高江山」に築かれ、「縄張り」は主郭と副郭による2郭構成。東西約200m、南北約80mの城跡には、堀切、土塁、畝状空堀群などが残っている。
		有浦大和守夫妻宝篋印塔	・戦国期の高江城城主有浦大和夫妻と伝えられている供養塔。安土桃山時代（天正年間）に造立されたものと推定でき、安土桃山時代の彫刻史を知る上でも注目される。 ・平成15年1月10日町指定重要文化財。
		回天格納庫跡地	・値賀川内。太平洋戦争時国土防衛に備え人間魚雷（回天）を格納すべく建設中の洞窟格納庫跡。 ・現在は、陥没の拡大を防ぐため埋戻している。
神社仏閣	神社 仏閣	普恩寺	・普恩寺集落の中央部の字門前にあり、山号が右門山で曹洞宗の寺。 ・本尊は、県重要文化財に指定されている聖観世音菩薩座像（木造聖観音菩薩座像）であり、体内に暦応五年（1342）湛勝作の銘がある。 ・寺録によると南北朝期に創建され、文和二年（1353）没の柏巖（岩）道樹和尚により開闢、元禄八年（1695）11月19日没の仲外正寅和尚により中興開山され今日に至る。 ・寺には値賀伊勢守の法名「前勢州大守秀岩宗椿大居士」の銘のある開基碑が祀ってある。
		東光寺	・有浦下集落の南の字前田にあり、山号を瑞泉山とする曹洞宗の寺。 ・本尊は国指定重要文化財の薬師如来座像が祀られている。 ・寺伝によれば、永享年間（1429～41）日高入道宗任本治が日高家累代の祈念仏の薬師如来座像を本尊として、隣町の鎮西町赤木に小庵東光寺を建立したのを創建とされている。さらに、天正20年（1592）前越州珠吞大居士が仲外正寅大和尚を拝請して鎮西町赤木の頽廢した東光寺を現地に寺号を移し、再建中興したものと伝えられている。
		八幡神社	・牟形集落の中央に位置し海岸沿いの台地の斜面にある。 ・祭神は誉田別命、息長足姫命、大名持命、少比古那命、田疑比売命が祀られている。旧村社。 ・社伝によると岸獄城主波多氏の家臣宮崎織部が城主の命で鎌倉八幡から分霊し祀ったのが始まりで、創立は保安四年（1123）と伝えられている。 ・「神社名簿」（牟形八幡神社蔵）には「大串新田 田島神社 祭神田疑比売命、境内末社その他として小祠諏訪神社」とある。さらに、田島神社は明治41年（1908）2月3日に合祀願

			が許可され、牟形八幡神社に合祀されたことが付記されている。
神社仏閣	神社 仏閣	値賀神社	・普恩寺集落の東の字門前にある。 ・祭神は天忍穂耳尊、伊邪那岐命、須佐之男命が祀られている。旧村社。 ・宝物に町重要文化財指定の「値賀伊勢守等の銘がある掛仏や新羅仏など」がある。 ・神社の由来は社伝によると、神功皇后が新羅遠征されたおりに、現在の普恩寺字新田の塩井川でみそぎをされたのに起因するとある。
		淀姫神社	・外津集落の西の字外津にある。 ・神祭は豊玉姫命と玉依姫命が祀られている。旧無格社。慶長16年(1611)に再建。
		三島神社	・玄海国定公園内の仮屋湾に浮かぶ三島にある神社。秋祭りが有名。
		白山神社	・一の鳥居は、値賀川内の村中安全と子孫繁栄を祈願して値賀川内の石工集団・徳永氏によって建立されたもの。鳥居の銘文には、「大工徳永□□」（判読不明）や「寛永五年」（1628年）といった、作者や年代を示す文字が記されている。鳥居の構造は、笠木・島木・貫は三本継ぎとなっており、「肥前鳥居」から「明神鳥居」へと移行していく段階の「折衷型」の特徴を有している。 ・平成29年1月27日町指定重要文化財。
		石田御堂 (木造薬師 如来坐像)	・本像は、かつて石田区にあったとされる西光寺（廃寺）の持仏と考えられている。 ・仏像胎内の銘文から、博多の仏師・猪熊により天正年間後半（1590年前後・安土桃山時代）に作られたものであることが分かっている。平成9年度に補修を行い、現在は石田御堂に安置している。 ・平成8年10月7日町指定重要文化財。
その他	その他 名所	藤ノ平ダム	・藤ノ平ダムは、ダム周辺で採取された水を透しにくい粘土質の土と、その周りに砂と石でできた砂礫材料をもちい、外側を大きな天然石により有浦川の中流を堰き止めて建設された美しいロックフィルダム。 ・堤体の上部には、ダムでは珍しい天然石を利用した転落防止柵が設置されている。
		外津大橋	・玄海町と唐津市を結ぶ海の架け橋。

B-b. 公園・レクリエーション

中分類	小分類	一般名称	概要
公園・庭園	公園	三島公園	・玄海国定公園内の仮屋湾に浮かぶ三島公園は、玄海町が自然との共存を目指し、景観や環境を壊さないように整備した自然公園。 ・片道750メートルの遊歩道には、東屋、アスレチック、展望台を備えている。
		轟木公園	・藤ノ平ダムのすぐ近くの小高い丘を公園化しており、春は桜が咲き、2棟の四阿屋で雲雀の鳴き声に耳を傾け、のんびりできる憩いの広場。

レクリエーション	テーマパーク・レジャーランド	玄海町次世代エネルギーパークあすびあ	・太陽光、風力、水力、水素、バイオマスなど、次世代のエネルギーを考え、体験することで、一人ひとりが元気な未来へのヒントを見つける施設。 ・バーベキュー広場や草スキーができるソリゲレンデなど、自然の中で遊べる公園エリアもある。
		玄海エネルギーパーク	・玄海原子力発電所の敷地内に広がるエネルギーのテーマパーク。 ・サイエンス館では、高さ 13m の実物大原子炉模型や、大迫力の原子炉シアターで原子力発電の仕組みについて学べる。 ・九州ふるさと館では、九州各県の代表的な伝統工芸品や民俗芸能を紹介。 ・発電所の廃熱を利用した観賞用温室では、世界各地の植物を楽しむ。
	温泉・プール	玄海海上温泉パレア	・仮屋湾の絶景に包まれて、天然温泉と食事を楽しめる憩いのスポット。家族風呂や宴会場、温水プールもあり、一日中楽しめる。
	釣り	仮屋湾遊魚センター	・タイ・ハマチ以外は釣り放題の天然の釣り堀。鯛の底引網体験など家族揃って一日のんびりと、釣りの醍醐味を堪能できる。
	遊歩道	溪流の森遊歩道	・藤ノ平ダムに流れ込む溪流には、遊歩道が整備され、安心して散策できる。

B-c. 祭事・イベント

中分類	小分類	一般名称	概要
祭事	行・祭事	ほうけんぎょう	・玄海町内の各地区で、地元の子供会による「ほうけんぎょう（鬼火焚）」が行われる。この祭りは1年の無病息災や厄払いを祈願して催されるもの。
		的射り構	・玄海町の大藺地区で毎年行われるこの行事は、順番で務める座元の元に男性 12 人が集まり、紋付き・袴という正装で矢を射るというもの。的には鬼と小さく記した和紙を貼り、一人 3 回ずつ矢を射る。見事一回目で命中すると、その年の御利益はかなり大きいとされる。
		三島神社秋の例祭	・三島神社の秋祭りは 560 年余りの歴史を持ち、玄海町の代表的な伝統行事。 ・御座船に乗せた 2 台の御輿を、大漁旗を掲げた船で伴走し、仮屋湾内を三周。その後、厄入りの男達の手で御輿を担いで御幸所に安置するという、躍動的な祭り。 ・10 月第 4 日曜日開催。
祭事	行・祭事	値賀神社秋の例祭	・値賀神社の「輪こぐり」は、夏越祭りとして値賀神社の氏子達が五穀豊穡、無病息災、家内安全を祈願して、境内に設けられた輪をくぐるもの。 ・10 月第 3 日曜日開催。御輿、奉納踊りがある。
		八幡神社秋の例祭	・牟形地区の八幡神社に昔から伝わる秋祭りで、今でも「御幸」が行われ、五穀豊穡、無病息災を願う祈願行事として大切に受け継がれている。神社境内下に設けられた御旅所へ大きな獅子を先頭に御輿を担ぎ、その下を願いを込めて 3 回くぐるというもの。行事が終わると奉納相撲が催される。 ・10 月第 2 日曜日に開催。

		淀姫神社 金比羅大祭	・旧暦3月10日（4月中旬～下旬）に近い日曜日に開催。外津地区で行われる祭りで、小学生による巫女舞奉納、御輿を乗せた漁船とお供船の勇壮な海上パレードが行われる。
イベント鑑賞・体験	イベント	玄海町 花火大会	・仮屋湾の水面に映る花火が美しい玄海町の夏の風物詩。
		玄海町 産業文化祭	・郷土の産業・学術・芸能等を一堂に会し広く紹介することで、町の産業の発展と文化の向上に寄与することを目的に毎年11月に開催。
		玄海町 フォトコンテスト	・玄海町の豊かな自然、活気あふれる人々、郷土色に濃く彩られた行事等“元気みなぎる玄海町”の写真を全国から募集するフォトコンテスト。
		玄海町 真鯛祭り	・真鯛の一本釣り体験、真鯛塩焼き&鯛めし販売、特産品直売等が行われるイベント。
		真鯛満喫 ウォーク	・浜野浦の棚田やその周辺のほのぼのとした風景を眺めながらのウォーキングイベント。 ・ゴール地点は玄海の美しい海を一望しながらのんびり入れる温泉があり、お昼には、新鮮な玄海の海の幸（真鯛めし、真鯛汁、サザエの壺焼き、地元スイーツ など）がいただける。
	体験 観光	田植え・ 稲刈り	・浜野浦の棚田で田植え、稲刈り体験。
	体験 民泊	田舎暮らし 体験	・玄海町の一般家庭に宿泊し、畑仕事や鯛養殖の手伝いなどを通して田舎暮らしを体験。
	郷土 芸能	仮屋・石田 区の巫女舞 （「浦安の 舞」）	・仮屋、石田区の巫女舞は、地域の安寧と平和を祈念する伝統行事として昭和18年3月に始まった。以来、戦後一時中断した時期はあるが、今日まで約70年に渡り、区民、中でも子供達が脈々と継承してきた伝統文化。 ・平成28年4月21日町指定重要無形民俗文化財

B-d. 特産品・名産物

中分類	小分類	一般名称	概要
名産品	特産物	佐賀牛	・柔らかな肉質と旨味が特長の佐賀牛。玄海町はその生産部門で大きなシェアを占めている。
		いちご	・玄海町で多く栽培されているのが「さがほのか」。大粒で色艶がよく上品な甘さが特長。
		キンショウ メロン	・玄海町の名物キンショウメロンは小ぶりながらもジューシーな肉質と手頃な価格が人気。
		丸トマト	・化学肥料を一切使わないこだわり栽培のトマトは、高い品質と独特の甘みが特徴。
		ハウスみかん	・玄海町のハウスみかんは露地みかんに比べて甘みが強く、果皮が薄いので食べやすさ抜群。
		馬鈴薯	・上場台地特有の赤土で育てていることから「あかつちいも」という名称で出荷されている。
名産品	特産物	玉ねぎ	・佐賀県は玉ねぎの産地として全国2位。中でも玄海町は玉ねぎ栽培の好適地とされている。
		棚田米	・玄界灘の風と太陽を浴び、自然水で育った風味豊かな米。

		玄界灘の海の幸	・ 仮屋湾や外津浦といった天然の良港をもつ玄海町では真鯛やふぐ、カンパチの養殖が盛ん。その生産高は県内No.1。恵み豊かな玄界灘が育む海の幸は格別の旨さ。
		玄海育ちの牡蠣	・ 仮屋湾や外津浦の栄養豊かな海で育ったおいしい牡蠣はぷりっとしてジューシー。

C. 観光施設等

C-a. 文化施設

中分類	小分類	一般名称	概要
文化施設	博物館	玄海町歴史民俗資料館	・ 長倉遺跡から発掘された八陵鏡や勾玉、管玉、先部遺跡で見つかった須恵器、土師器、鉄刀、ガラス玉類の埋葬品などを保管・展示。
	産業観光施設	玄海ウインドファーム	・ 海沿いに立ち並ぶ大きな風車。高さ約 100m の真っ白な風車が、玄界灘の風を受け人々の暮らしを支えるエネルギーを生み出している。
		玄海町薬用植物栽培研究所（薬草園）	・ 様々な薬や化粧品の原料として使われる薬用植物の栽培・研究の拠点。
		玄海町産業会館	・ 地場産業の振興及び住民福祉の向上に寄与するための施設。
	その他建造物	鰻絵	・ 左官職人が鰻で壁に浮き彫りにした絵。大黒・恵比寿・虎・鯉など仮屋地区や有浦上地区など 14 カ所で確認できる。

C-b. 観光拠点施設

中分類	小分類	一般名称	概要
観光拠点施設	観光拠点施設	ふるさと発想館	・ 町内の主婦グループが主体となって玄海町の様々な加工品や農産物を販売する直売所。
		中山牧場直売所	・ 食肉加工所併設の直売所。 ・ 中山牧場直営のレストハウスでは、直売の牛肉でバーベキューや焼き肉が楽しめる。
		物産販売所「どっ来い承」	・ 新鮮な鯛の旨味付け「うまか鯛」や農畜産物などの地元特産品を販売。
		松本アイス工房（松本牧場内）	・ 松本牧場の搾りたての牛乳から作られたアイスクリームを販売。
	宿泊施設	たいけん民宿ふぁみいゆ	・ 収容人数：8 名、駐車場有り ・ シーカヤック、湾内での魚釣り、ピザ作り、農業体験などができる
		民宿まつもと	・ 収容人数：20 名、駐車場有り、送迎バス有り ・ 宴会場(40 名)有り、軽身障者設備有り
		民宿山崎	・ 収容人数：40 名、定休日：不定休 ・ 駐車場有り。普通車 40 台大型 4 台
		旅館丸富	・ 収容人数：35 名、駐車場有り
	観光拠点施設	値賀崎旅館	・ 収容人数：40 名、駐車場有り
		旅館大玄	・ 収容人数：25 名、駐車場有り

		ビジネスホテル大玄	・収容人数：21名、駐車場有り
		旅館佐和屋	・収容人数：30名、駐車場有り
		山一旅館	・収容人数：60名、駐車場有り、送迎バスあり
		京栄旅館	・収容人数：50名、駐車場有り、送迎バスあり
		唐津屋旅館	・収容人数：20名、駐車場有り
		民宿宗福	・収容人数：22名、駐車場有り
		漁家民宿 要太郎	・収容人数：50名、駐車場有り
		値賀崎別館	・収容人数：150名、駐車場有り（30台） ・送迎バス有り（貸切営業バス保有・13台）※有料
		民宿安兵衛	・収容人数：35名、駐車場有り
	飲食店	和味	・居酒屋 ・営業時間：17：00～23：00、定休日：水曜日
		居酒屋ヒロ	・居酒屋 ・営業時間：11：30～13：30、17：00～24：00 ・定休日：月曜日、収容人数：1階20名、2階30名
		あけぼの屋	・食事処 ・営業時間：11：00～22：00、定休日：不定休 ・収容人数：100名、大中小部屋有り
		焼鳥 なるほど	・焼鳥 ・営業時間：17：00～23：00、定休日：火曜日 ・収容人数：60名
		陣寿司	・寿司 ・営業時間：12：00～14：00、17：00～22：00 ・定休日：水曜日、収容人数：1階20名、2階30名
		旬の活魚 もめん	・魚介料理、海鮮料理の食事処 ・営業時間：17：00～23：00、定休日：月曜日、第2日曜日
		お食事処 「紀水」	・魚介料理、海鮮料理の食事処、土産品販売 ・営業時間：11：00～15：00、17：00～21：00 ・定休日：無休、収容人数：50名、大中小部屋有り
		漁師料理 魚山人	・魚介料理、海鮮料理の食事処 ・営業時間：12：00～14：30、17：00～19：30 ・定休日：不定休、予約：要予約 ・収容人数：4名～22名（昼、夜一組限定）
		お食事処 ふくみ	・食事処 ・営業時間：11：30～14：00、17：00～21：00 ・定休日：月曜日、収容人数：椅子席24名、部屋40名
		焼肉とお食 事の店丸福	・佐賀牛を使用した食事処 ・営業時間：11：30～13：30、17：30～22：30 ・定休日：日曜日、収容人数：50名
観光 拠点施設	飲食店	バス停食堂	・居酒屋 ・営業時間：17：00～24：00、定休日：日曜日 ・収容人数：70名、小部屋有り
		食工房 すいぐん	・海産物や和牛の加工品販売・居酒屋 ・営業時間：17：30～23：00、定休日：日曜日 ・収容人数：100名、大中小部屋有り

		スナック AGAIN	・スナック ・営業時間：20：00～26：00、定休日：日曜日 ・収容人数：25 名
		楽縁	・魚介類や佐賀牛を使用した和食処 ・営業時間：17：00～24：00※日曜日は23：00 迄 ・定休日：月曜日、収容人数：100 名、大中小部屋有り
		美食倶楽部 富高岩	・フレンチ、魚料理のレストラン ・営業時間：11：30～14：00、17：30～21：00 ・定休日：水曜日
		要太郎	・居酒屋 ・営業時間：12：00～14：00、17：30～21：00 ・定休日：ランチのみ火曜日定休日、予約：要予約 ・収容人数：30 名
		お食事処 さくら	・食事処 ・営業時間：11：30～14：00、17：00～22：00 ・定休日：日曜日
	小売店	ととまる (魚魚丸)	・弁当販売
		カウベルン ムカイ	・パン、ケーキ等販売 ・営業時間：7：00～17：00（売り切れ次第閉店） ・定休日：日曜日、祝日
		(株)上場食 肉	・食肉の直売・加工・卸売 ・営業時間：9：00～20：00、定休日：不定休
		とまと屋 常右衛門	・無人販売 ・営業時間：8：30～19：00（無くなり次第終了） ・定休日：トマトの収穫がない時は休み
		前川菓子店	・和菓子の製造・販売 ・営業時間：7：30～19：30、定休日：不定休
		手塚製麺	・製麺、卸売・販売 ・営業時間：7：00～19：00、定休日：不定休

C-c. スポーツ・レクリエーション施設

中分類	小分類	一般名称	概要
スポーツ・ レジャー	スポー ツ施設	玄海町いこ いの広場	・玄海国定公園内の仮屋湾の一角に位置する、多目的スポーツ施設。総合運動場、野球場、テニスコート、社会体育館等がある。

